

ICレコーダー
ICD-TX800



ICレコーダーを使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

準備する

[箱の中身を確認する](#)

[各部のなまえ](#)

[キャリングケースを使う](#)

ホームメニュー／オプションメニュー

[ホームメニューの使いかた](#)

[オプションメニューの使いかた](#)

[オプションメニュー一覧](#)

[フォルダとファイルについて](#)

表示窓

[ホームメニュー操作時](#)

[録音時／録音停止時](#)

[再生時](#)

[録音情報表示時](#)

[ファイル情報表示時](#)

[検索方法選択時](#)

電源を準備する

- [パソコンを使って本体を充電する](#)
- [本体をパソコンから取り外す](#)
- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)
- [USB ACアダプターから本体を取り外す](#)
- [本体の電源を入れる](#)
- [本体の電源を切る](#)
- [画面が自動的に消えるまでの時間を設定する（画面オフタイマー）](#)

リモコンを使う

- [リモコンを操作する](#)
- [リモコンの動作表示ランプを確認する](#)
- [リモコンをリセットする](#)
- [リモコンの電池を交換する](#)
- [本体にリモコンを登録する](#)

[初期設定をする](#)

誤動作を防止する

- [本体の誤操作を防止する（ホールド）](#)
- [本体のホールドを解除する](#)

録音する

録音する

- [内蔵マイクで録音する](#)
- [本体の電源がオフのときに録音を開始する（ワンブッシュ録音）](#)
- [録音中の音をモニターする](#)
- [録音先フォルダを変更する](#)

録音の設定を変える

- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- [フォーカス録音／ワイド録音を設定する](#)
- [より良い音で録音するには](#)
- [シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について](#)

[録音開始タイマーを使う](#)

[音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)

再生する

再生する

[ファイルを再生する](#)

[ファイルを選ぶ](#)

[トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す](#)

[いろいろな再生操作](#)

再生の設定を変える

[再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする－クリアボイス機能](#)

[録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)

[再生速度を調節する－DPC（Digital Pitch Control）](#)

[再生モードを変える](#)

[必要な部分だけを再生する－A-Bリピート](#)

[1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）](#)

[再生範囲を指定する](#)

[早送り／早戻しする（キュー／レビュー）](#)

[すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)

スマートフォンでICレコーダーを操作する（REC Remote）

[REC Remoteでできること](#)

[REC Remoteを準備する](#)

[スマートフォンと本体をBluetooth接続する](#)

[スマートフォンで本体を操作する](#)

[Bluetooth接続を切断する](#)

[Bluetooth接続を再接続する（Androidの場合）](#)

[Bluetooth接続を再接続する（iOSの場合）](#)

[Bluetooth情報を表示する](#)

編集する

削除する

- [ファイルを削除する](#)

- [フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)

- [フォルダを削除する](#)

ファイルを整理する

- [ファイルを別のフォルダに移動する](#)

- [ファイルを別のフォルダにコピーする](#)

- [フォルダを作成する](#)

トラックマークを使う

- [トラックマークを付ける](#)

- [トラックマークを自動で付ける](#)

- [トラックマークを削除する](#)

- [すべてのトラックマークを削除する](#)

ファイルを分割する

- [現在位置でファイルを分割する](#)

- [すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する](#)

なまえを変更する

- [フォルダ名を変更する](#)

- [ファイル名を変更する](#)

[ファイルを保護する](#)

各種設定メニュー

各種設定メニューを使う

- [各種設定メニュー一覧](#)

設定できる項目

- [録音モードを選ぶ（録音モード）](#)

- [マイク感度を設定する（マイク感度設定）](#)

- [ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)

- [本体の動作表示ランプの点灯、消灯を設定する（ランプ）](#)

- [日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）](#)

- [時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）](#)

- [操作音の設定をする（操作音）](#)

[スリープタイマーを使う（スリープタイマー）](#)

[本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)

[メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定初期化）](#)

[メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)

[録音可能時間を確認する（録音可能時間）](#)

[ICレコーダーの本体情報を確認する（本体情報）](#)

パソコンにつないで使う

[ICレコーダーをパソコンに接続する](#)

[フォルダとファイルの構成](#)

[ファイルをICレコーダーからパソコンにコピーして保存する](#)

[パソコンにある音楽ファイルをICレコーダーにドラッグアンドドロップしてコピーする](#)

[パソコンからコピーした音楽ファイルをICレコーダーで再生する](#)

[USBメモリーとして利用する](#)

Sound Organizer 2を使う

[Sound Organizer 2でできること（Windowsのみ）](#)

[Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成](#)

[Sound Organizer 2をインストールする（Windowsのみ）](#)

[Sound Organizer 2の基本操作（Windowsのみ）](#)

主な仕様

[必要なシステム構成](#)

[ICレコーダーの仕様](#)

[最大録音時間](#)

[音楽ファイル最大再生時間／ファイル数](#)

[電池の持続時間](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[保証書とアフターサービス](#)

[著作権と商標について](#)

[ライセンスについて](#)

お問い合わせ

- 電話・FAXで問い合わせる

サポートホームページ

- サポートホームページで調べる

困ったときは／よくある質問

困ったときは

本体のリスタートについて

ノイズ

- ノイズが多く聞き取りにくい。
- 録音にノイズが多いため、ノイズを少なく録音したい。
- カサカサという音が録音されている。
- ジリジリという音が録音されている。
- ヘッドホンで聞くと雑音が入る。
- クリアボイス機能を設定しているのにノイズが入る。

電源（本体）

- 本体の電源が入らない、または本体の操作ボタンを押しても動作しない。
- 本体の電源が切れない。
- 本体の電源が自動的に切れる。
- 本体の電池の持続時間が短い。
- パソコンで本体を充電できない。
- 充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。
- 電池残量、充電表示部で充電温度異常のアイコンが点滅表示している。

リモコン

- リモコンの電源が入らない、またはリモコンの操作ボタンを押しても動作しない。
- リモコンの動作表示ランプが点滅してリモコンの操作ボタンを押しても動作しない。
- リモコンの電池の持続時間が短い。

動作

- 正常に動作しない。
- 動作表示ランプが点灯しない。

録音

[録音できない。](#)

[録音が途中で止まる。](#)

再生

[再生音量が小さい。](#)

[再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。](#)

編集

[ファイルを分割できない。](#)

[ファイルを移動できない。](#)

[ファイルを別のフォルダへコピーできない。](#)

[トラックマークを認識しない。](#)

[作成したフォルダやファイルが見えない。](#)

時計

[録音日時表示が「----/--/--」または「--:--」になる。](#)

表示

[ICレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。](#)

ファイル

[「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。](#)

[「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。](#)

パソコン

[フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。](#)

[ファイルコピーに時間がかかる。](#)

[パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。](#)

[ICレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。](#)

[パソコンが起動しない。](#)

REC Remote

[ICレコーダーを登録できない（ペアリングできない）。](#)

[Bluetooth接続ができない。](#)

付属ソフト（Sound Organizer 2）

[インストールできない。](#)

[ICレコーダーと接続できない。](#)

- パソコンからの再生音量が小さい、パソコンから音が出ない。

- 保存したファイルが再生、編集できない。

- カウンターやスライダーの動きがおかしい、雑音が入る。

- ファイル数が増えると動作が遅くなる。

- ファイルの保存・追加・削除中に画面が動かなくなる。

- Sound Organizer 2を起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。

メッセージ表示一覧

システム上の制約

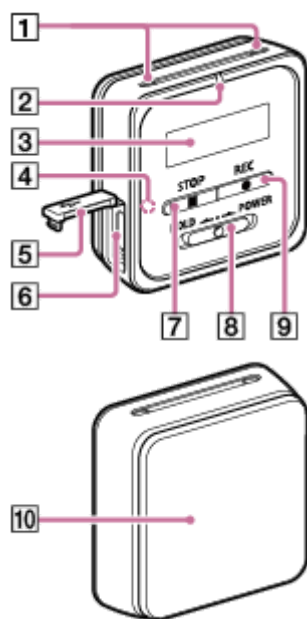
ICレコーダー
ICD-TX800

箱の中身を確認する

- 本体（1）
- リモコン（1）
お買い上げの状態では、ボタン型リチウム電池が取り付けられています。
- ステレオヘッドホン（1）
- 専用ヘッドホン接続ケーブル（1）
- USBケーブル（1）
パソコンに接続する場合は、必ず付属のUSBケーブルをお使いください。
- キャリングケース（1）
- 取扱説明書（1）
- Sound Organizer 2（サウンドオーガナイザー2）を使う（1）
- REC Remote（レックリモート）を使う（1）
- 保証書（1）
- 「製品登録」のおすすめ（1）

各部のなまえ

本体

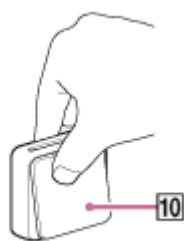


1. 内蔵マイク（L/R）
2. 動作表示ランプ
3. 表示窓
4. Bluetoothランプ（＊1）
5. USB蓋
6. USB端子／ヘッドホン出力端子（USB蓋の中にあります。）
7. ■STOP（停止）ボタン
8. HOLD・POWER（ホールド・電源）スイッチ（＊2）
9. ●REC（録音）ボタン
10. クリップ（＊3）

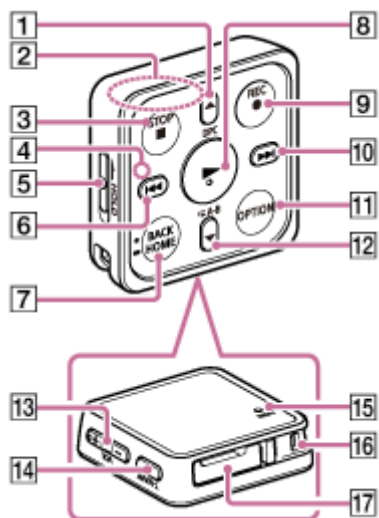
＊1 ランプの色や状態で、Bluetooth機能のオン／オフやペアリング（機器登録）の状態を示します。

＊2 HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせたままの状態を8秒間維持すると、ICレコーダーがリスタートします。詳しくは、「[本体のリスタートについて](#)」をご覧ください。

＊3 ポケットなどに挟んで取り付けることができます。



リモコン



1. ▲/DPC（速度調節）ボタン
2. 内蔵アンテナ（＊1）
3. ■STOP（停止）ボタン
4. 動作表示ランプ
5. HOLD（ホールド）スイッチ
6. ◀◀（早戻し／選択）ボタン
7. ●BACK/ ●HOME（戻る／ホーム（長押し））ボタン（＊2）
8. ▶（再生／決定）ボタン（＊3）
9. ●REC（録音）ボタン
10. ▶▶（早送り／選択）ボタン
11. OPTION（オプション）ボタン
12. ▼/↺ A-B（A-Bリピート）ボタン
13. VOL（音量）－／＋ボタン（＊3）
14. T-MARK（トラックマーク）ボタン
15. RESET（リセット）ボタン（＊4）
16. ストラップ取り付け部（ストラップは付属していません。）
17. 電池トレイ（＊5）

＊1 リモコンを使用するときには手などで覆わないでください。本体との接続に障害を起こす場合があります。

＊2 1回押すと、前の画面に戻ります。長押しすると、ホーム画面が表示されます。

- *3 ►（再生／決定）ボタンとVOL（音量）－／＋ボタンの＋側に凸点（突起）がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。
- *4 リモコンで本体を操作できなくなったときに押してください。
- *5 お買い上げ時、ボタン型リチウム電池が取り付けられています。

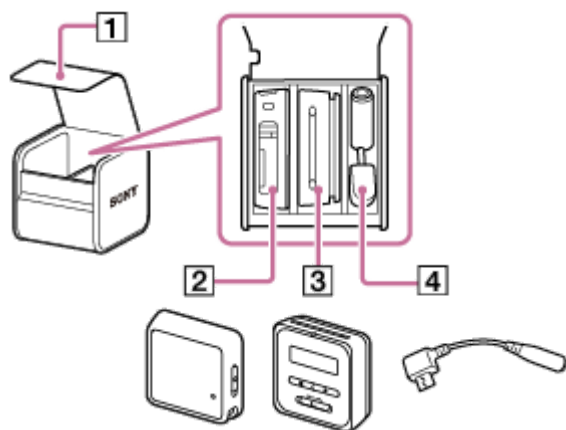
4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-TX800

キャリングケースを使う

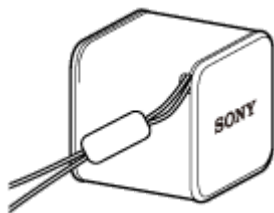
付属のキャリングケースに本体や付属品を入れて、まとめて持ち運ぶことができます。

以下のように入れてください。



1. 開閉蓋
2. リモコン
3. 本体
4. 専用ヘッドホンケーブル

リモコンに付けたストラップ（市販）は、下図のようにキャリングケース後面の穴に通すことができます。

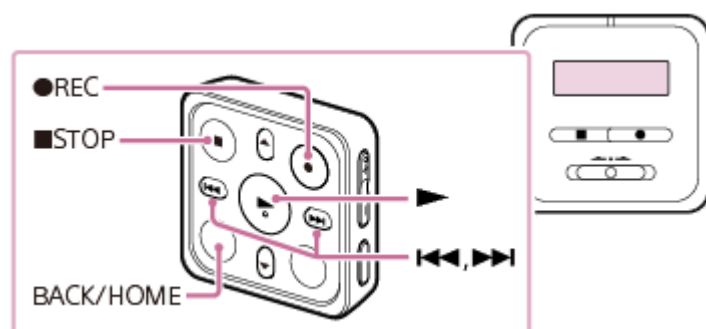


ご注意

- 持ち運びの際は、キャリングケースから出したストラップをつかまないようにしてください。

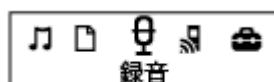
ホームメニューの使いかた

ICレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューになります。
ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更したりすることができます。
ホームメニューは、リモコンで操作して表示してください。



1 リモコンを操作して、BACK/HOMEボタンを長押しする。

ホームメニュー画面が表示されます。



2 ◀◀または▶▶ ボタンを押して、使いたい機能を選び、▶ ボタンを押す。

以下の機能を選択できます。

🎵 ミュージック：

パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。

音楽ファイルは、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。

ファイルを転送するときは、MUSICフォルダ内に入れてください。

📁 録音したファイル：

ICレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。

録音したファイルは、「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。

🎙️ 録音：

録音画面を表示します。録音を開始するには、● RECボタンを押します。

📶 REC Remote：

Bluetooth機能を使ったREC Remoteのメニューを表示します。

REC Remoteを使用する際に必要な機器登録（ペアリング）やBluetoothのオン／オフ設定はここから行います。

⚙️ 各種設定：

各種設定メニューを表示して、ICレコーダーのさまざまな設定ができます。

🏠 XX（*）画面へ：

ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

- ホームメニューで操作中に ■ STOPボタンを押すと、ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

関連項目

- [オプションメニューの使いかた](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

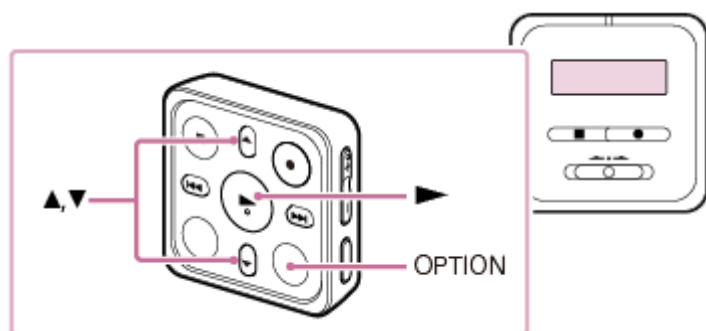
ICレコーダー
ICD-TX800

オプションメニューの使いかた

リモコンのOPTIONボタンを押すと、ICレコーダーの各機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。

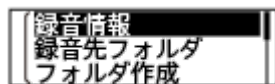
ご注意

- 画面によっては、オプションメニューが表示されないこともあります。



- 1 リモコンを操作して、ホームメニューで機能を選んだあと、OPTIONボタンを押す。

使用している機能のオプションメニューが表示されます。



- 2 ▲または▼ボタンを押して、設定したい項目を選び、▶ボタンを押す。

- 3 ▲または▼ボタンを押して設定し、▶ボタンを押す。

ヒント

- 1つ前の画面に戻るには、メニュー操作中にBACK/HOMEボタンを押します。

関連項目

- [ホームメニューの使いかた](#)
- [オプションメニュー一覧](#)

オプションメニュー一覧

リモコンのOPTIONボタンを押して表示される、オプションメニューの一覧を紹介します。
操作や条件によっては表示されない項目もあります。

録音

録音中、録音停止中に表示できます。

- 録音情報：
[録音情報表示時](#)
- 録音先フォルダ：
[録音先フォルダを変更する](#)
- フォルダ作成：
[フォルダを作成する](#)
- シーンセレクト：
[用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- 録音開始タイマー：
[録音開始タイマーを使う](#)
- 録音モード：
[録音モードを選ぶ（録音モード）](#)
- マイク感度設定：
[マイク感度を設定する（マイク感度設定）](#)
- フォーカス／ワイド：
[フォーカス録音／ワイド録音を設定する](#)
- 録音フィルター：
[ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)
- VOR：
[音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)
- 1ファイル削除：
[ファイルを削除する](#)

録音したファイル

録音したファイルの一覧を表示させているときや再生中、再生停止中に表示できます。

- 書き起こし用再生：
[録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)
- 書き起こし終了：
[録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)
- クリアボイス：
[再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする－クリアボイス機能](#)

- イージーサーチ :
すばやく指定の場所を検索する (イージーサーチ)
- イージーサーチ間隔設定 :
すばやく指定の場所を検索する (イージーサーチ)
- 再生モード :
再生モードを変える
- 再生範囲設定 :
再生範囲を指定する
- 1ファイル削除 :
ファイルを削除する
- 保護 :
ファイルを保護する
- 保護解除 :
ファイルを保護する
- トラックマーク一覧 :
トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す
- トラックマーク削除 :
トラックマークを削除する
- 分割 :
現在位置でファイルを分割する
すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する
- リスト内全削除 :
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- フォルダ内全削除 :
フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する
- ファイル移動 :
ファイルを別のフォルダに移動する
- ファイルコピー :
ファイルを別のフォルダにコピーする
- ファイル名変更 :
ファイル名を変更する
- ファイル情報 :
ファイル情報表示時
- フォルダ作成 :
フォルダを作成する
- フォルダ削除 :
フォルダを削除する
- フォルダ名変更 :
フォルダ名を変更する

ミュージック

パソコンから転送した音楽ファイルの再生中、再生停止中に表示できます。

- 書き起こし用再生：
[録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)
- 書き起こし終了：
[録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)
- イージーサーチ：
[すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)
- 再生モード：
[再生モードを変える](#)
- 再生範囲設定：
[再生範囲を指定する](#)
- 1ファイル削除：
[ファイルを削除する](#)
- 保護：
[ファイルを保護する](#)
- 保護解除：
[ファイルを保護する](#)
- トラックマーク一覧：
[トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す](#)
- トラックマーク削除：
[トラックマークを削除する](#)
- リスト内全削除：
[フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)
- フォルダ内全削除：
[フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)
- ファイル情報：
[ファイル情報表示時](#)
- フォルダ削除：
[フォルダを削除する](#)

関連項目

- [オプションメニューの使いかた](#)

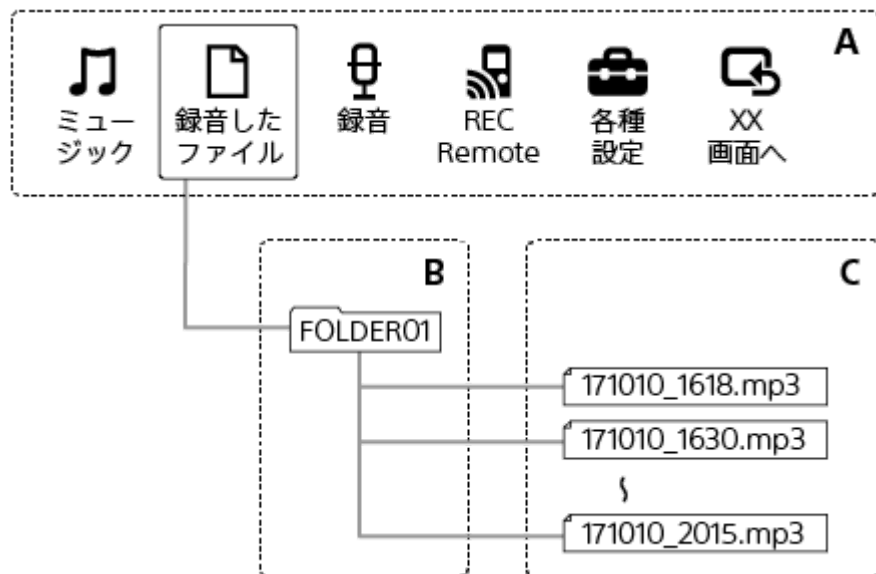
ICレコーダー
ICD-TX800

フォルダとファイルについて

ICレコーダー上で見えるフォルダとファイルの構成について説明します。

「📁 録音したファイル」の場合

「FOLDER01」：マイク録音したファイルが保存されます。

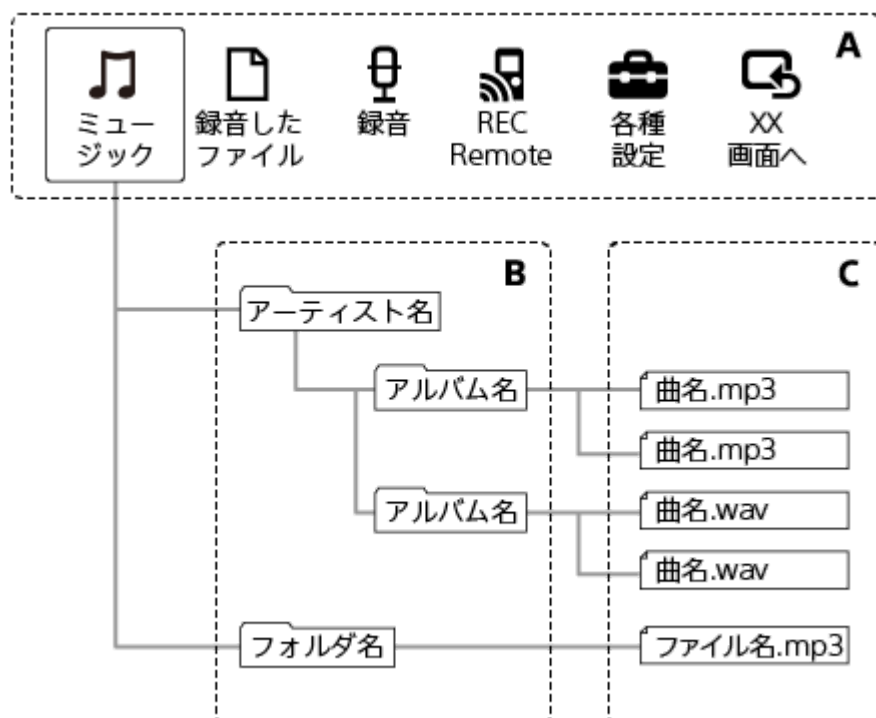


A：ホームメニュー

B：フォルダ

C：ファイル

「🎵 ミュージック」の場合



A : ホームメニュー
B : フォルダ
C : ファイル

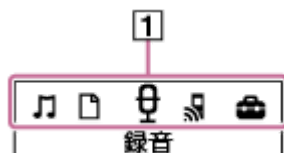
関連項目

- [ファイルを別のフォルダに移動する](#)
- [ファイルを別のフォルダにコピーする](#)
- [フォルダとファイルの構成](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ホームメニュー操作時

ホームメニュー操作時の表示を説明します。









ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. ホームメニュー表示

以下のメニューを選択できます。

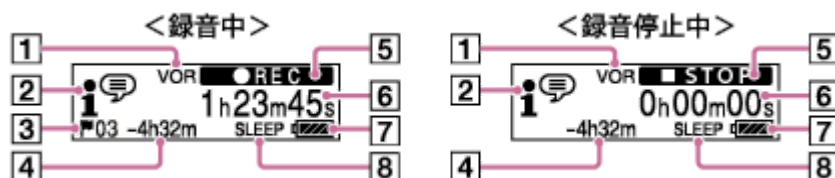
-  : ミュージック
-  : 録音したファイル
-  : 録音
-  : REC Remote
-  : 各種設定
-  : XX画面へ（XXには、現在使用している機能が表示されます。）

関連項目

- [ホームメニューの使いかた](#)

録音時／録音停止時

録音時／録音停止時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. VOR

VOR録音が設定されているときに表示されます。

2. シーンセレクト設定表示

選択しているシーンが表示されます。

- : おまかせボイス
- : ポケット
- : 会議
- : 講演
- : ボイスメモ
- : インタビュー

3. トラックマーク

設定されているトラックマークの数を表示します。

4. 録音可能時間表示

録音可能時間を時間、分、秒で表示します。

10時間以上の場合：表示なし

10分以上、10時間未満の場合：時間と分

10分未満の場合：分と秒

5. 動作モード表示

ICレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。

- : 録音中
- : 録音一時停止中（*）
- : 停止中

6. 経過時間

録音の経過時間を表示します。

7. 電池マーク

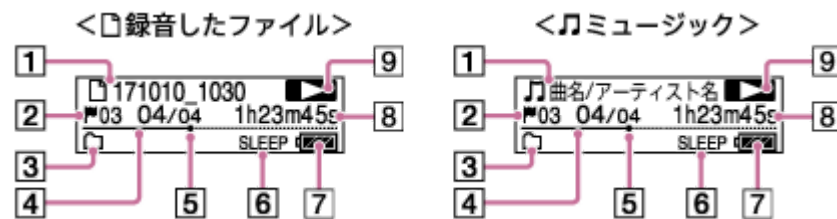
8. スリープタイマー表示

スリープタイマーが設定されているときに表示されます。

* ICレコーダーを使って録音を一時停止することはできません。一時停止するには、REC Remoteをお使いください。

再生時

再生時に画面に表示される項目やアイコンを説明します。



ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

1. ファイル情報表示

再生中のファイルの情報が表示されます。

ICレコーダーで録音されたファイルは、下記のように表示されます。

□: ファイル名を表示: 年月日_時刻 (例: 171010_1030)

音楽ファイルは、下記の情報が表示されます。

♪: 曲名/アーティスト名を表示

2. トラックマーク表示

現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

3. 再生モード/再生範囲設定/クリアボイス/DPCアイコン

アイコンなし: ノーマル (「再生モード」の設定)

↺: リピート (「再生モード」の設定)

1: 1ファイル再生 (「再生モード」の設定)

↺1: 1ファイルリピート (「再生モード」の設定)

↻: シャッフル (「再生モード」の設定)

↺↻: シャッフルリピート (「再生モード」の設定)

□: 選択範囲内を再生 (「再生範囲設定」の設定)

VOICE 1: クリアボイス1 (「クリアボイス」の設定)

VOICE 2: クリアボイス2 (「クリアボイス」の設定)

DPC: DPC (速度調節) (「DPC」の設定)

4. ファイル位置情報表示

再生中のファイル番号/再生予定総ファイル数を表示します。

5. 再生位置表示

現在の再生位置を表示します。

6. スリープタイマー表示

スリープタイマーが設定されているときに表示されます。

7. 電池マーク




8. 経過時間表示

1ファイルの再生経過時間を表示します。

9. 動作モード表示

ICレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。

▶: 再生中

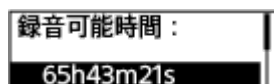
 /  : 早戻し／早送り再生中
 : 停止中

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-TX800

録音情報表示時

録音可能時間や録音先のフォルダの設定などを表示します。
録音情報を表示するには、録音停止中にオプションメニュー「録音情報」を選び、▶ ボタンを押して決定します。



表示される録音情報は以下のとおりです。

録音可能時間：

録音可能な残り時間を表示します。

録音先フォルダ：

録音先のフォルダ名を表示します。

シーンセレクト：

選択中のシーンを表示します。

シーン選択後に録音設定を変更した場合は、設定項目の左側に「＊」が表示されます。

シーンセレクトのお買い上げ時の設定については、「[シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について](#)」をご覧ください。

録音モード：

選択中の録音モードを表示します。

マイク感度：

マイク感度の設定状態を表示します。

フォーカス／ワイド：

フォーカス／ワイド録音の設定状態を表示します。

録音フィルター：

録音フィルターの設定状態を表示します。

VOR：

VOR録音機能の設定状態を表示します。

自動トラックマーク：

自動トラックマークの設定状態を表示します。

自動トラックマークの時刻情報：

自動トラックマークの時刻情報の設定状態を表示します。

ヒント

- 録音情報は、録音停止中に ■ STOPボタンを押して表示することもできます。

ファイル情報表示時

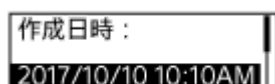
現在選択しているファイルの情報（ファイルの長さや録音モード、作成日時など）を説明します。

ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

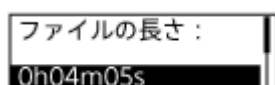
ICレコーダーで録音したファイルまたは音楽ファイルの再生停止中に、オプションメニューから「ファイル情報」を選ぶと、現在選択されているファイルの情報を表示します。▲または▼ボタンを押して、表示をスクロールします。確認できる情報は以下のとおりです。

録音したファイルの情報表示





- 作成日時：ファイルの録音日時（年/月/日/時刻）を表示します。
- ファイルの長さ：ファイルの再生時間を時間、分、秒で表示します。
- ファイルの保護：ファイルの保護設定を表示します。
- 録音した機器：録音した機器を表示します。
- シーンセレクト：録音時のシーンセレクト設定を表示します。
- 録音モード：録音時の録音モード設定を表示します。
- マイク感度：録音時のマイク感度設定を表示します。
- フォーカス／ワイド：録音時のフォーカス／ワイド録音の設定を表示します。
- 録音フィルター：録音時の録音フィルター設定を表示します。
- VOR：録音時のVOR機能の設定を表示します。
- ファイルパス：ファイルのパスを表示します。

音楽ファイルの情報表示



- ファイルの長さ：ファイルの再生時間を時間、分、秒で表示します。
- ファイルの保護：音楽ファイルの保護設定を表示します。
- コーデック：音楽ファイルのコーデックを表示します。
- ビットレート：音楽ファイルのビットレートを表示します。
- サンプリング周波数：音楽ファイルのサンプリング周波数を表示します。
- 量子化ビット数：音楽ファイルの量子化ビット数を表示します。
- ファイルパス：ファイルのパスを表示します。

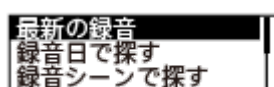
検索方法選択時

ホームメニューで「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選ぶと、ファイルの検索方法を選択する表示窓が表示されます。

ご注意

- 記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。

録音したファイル選択時



以下の検索方法から選択できます。

最新の録音：

最新の録音ファイルを再生します。

録音日で探す：

録音日からファイルを探します。

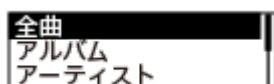
録音シーンで探す：

録音シーンからファイルを探します。

フォルダ：

選択したフォルダからファイルを探します。

音楽ファイル選択時



以下の検索方法から選択できます。

全曲：

全曲の曲名リストからファイルを探します。

アルバム：

全アルバムのアルバム名リストからファイルを探します。

アーティスト：

全アーティストのアーティスト名リストからファイルを探します。

フォルダ：

選択したフォルダからファイルを探します。

パソコンを使って本体を充電する

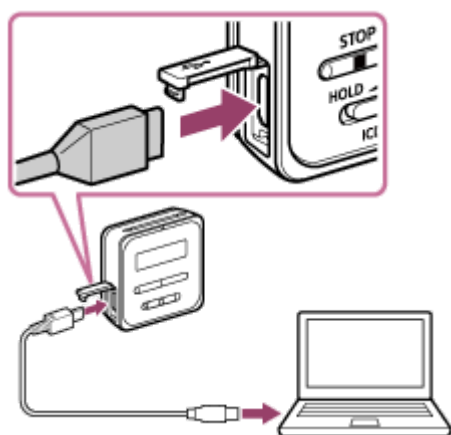
本体はパソコンを使って充電することができます。

はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「**FULL**」になるまで連続して充電してください。

電池を使いきった状態から約1時間（＊）で充電が完了します。

＊ 室温で電池残量がない状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。

- 1 本体側面のUSB蓋を開け、付属のUSBケーブルで本体のUSB端子／ヘッドホン出力端子と起動しているパソコンのUSBポートを接続する。



充電中は、電池マーク（①）がアニメーション表示されます。



充電が完了すると、電池マークが「**FULL**」（②）と表示されます。



ご注意

- 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態（スタンバイ、スリープ）のときは充電できません。

関連項目

- [本体をパソコンから取り外す](#)
- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)

本体をパソコンから取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。

この手順で行わないと、本体にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

1 画面に「アクセス中」と表示されていないことを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

- Windowsの場合：
タスクバー（パソコンの画面右下）にある「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックしてください。



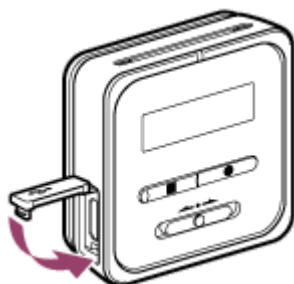
→ [IC RECORDERの取り出し] をクリックしてください。

アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

- Macの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「IC RECORDER」の取り外しアイコンをクリックしてください。

3 本体に接続している付属のUSBケーブルを、パソコンのUSBポートと本体のUSB端子／ヘッドホン出力端子から外し、本体側面のUSB蓋を閉じる。



ヒント

- パソコンから取り外す方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

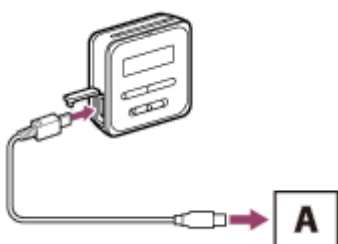
関連項目

- [パソコンを使って本体を充電する](#)
- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)

USB ACアダプターにつないで使う／充電する

別売のUSB ACアダプター（AC-UD20）を使って、本体と家庭用電源（コンセント）をつないで内蔵充電式電池を充電したり、つないだままICレコーダーを使用したりできます。長時間録音をする場合などに便利です。

- 1 USB ACアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 本体側面のUSB蓋を開け、付属のUSBケーブルで本体のUSB端子／ヘッドホン出力端子とUSB ACアダプターをつなぐ。



A: USB ACアダプター（別売）
充電中は、電池マーク（①）がアニメーション表示されます。
充電をしながらICレコーダーを使うことができます。



ご注意

- 録音中（本体の動作表示ランプが赤に点灯）や録音一時停止中（本体の動作表示ランプが赤に点滅）は、コンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターからUSBケーブルを抜き差ししたり、本体を接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

関連項目

- [USB ACアダプターから本体を取り外す](#)
- [電池の持続時間](#)

USB ACアダプターから本体を取り外す

必ず下記の手順で取り外してください。この手順で行わないと、本体にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

- 1 録音や再生などの動作中の場合、■STOPボタンを押して動作を停止する。
- 2 本体につないだ付属のUSBケーブルをUSB ACアダプターから取り外し、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

ご注意

- 録音中（本体の動作表示ランプが赤に点灯）や録音一時停止中（本体の動作表示ランプが赤に点滅）は、コンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターからUSBケーブルを抜き差ししたり、本体を接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

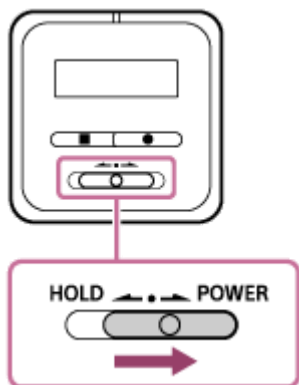
関連項目

- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

本体の電源を入れる

- 1 画面が表示されるまで、HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせる。



ヒント

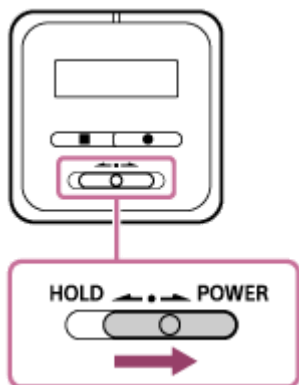
- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時の設定は、30分になっています。）

関連項目

- [本体の電源を切る](#)

本体の電源を切る

- 1 「電源オフ」と表示されるまで、HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせる。



ご注意

- HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へ8秒間スライドさせたままの状態にすると、本体がリスタートします。動作中にリスタートすると、ICレコーダーに保存しているデータや設定が削除される場合がありますのでご注意ください。

ヒント

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時の設定は、30分になっています。）


関連項目

- [本体の電源を入れる](#)
- [本体のリスタートについて](#)

画面が自動的に消えるまでの時間を設定する（画面オフタイマー）

ICレコーダーでは、電池の消耗を抑えるため、お買い上げ時に「画面オフタイマー」が「30秒」に設定されています。本体やリモコンの操作をしないまま約30秒経過すると、画面表示が消えます。画面表示が消えた状態でも、ボタン操作を行うことができます。画面を表示したいときは、リモコンのBACK/HOMEボタンを押すか、本体のHOLD・POWERスイッチを一度「HOLD」の方向にスライドさせてから、中央位置に戻してください。

ヒント

- 画面オフに入るまでの時間を変更するには、リモコンを操作して、ホームメニューの「各種設定」－「共通設定」－「画面オフタイマー」で「画面を消さない」または「15秒」、「30秒」、「1分」、「3分」、「5分」から選んでください。

ICレコーダー
ICD-TX800

リモコンを操作する

リモコンの基本的な操作方法について説明します。

本体では録音、停止のみ操作することができます。それ以外の操作は、リモコンで行います。

リモコンのホールドを解除する

お買い上げ時は、HOLDスイッチがオンになっています。

必ずホールドを解除してからお使いください。

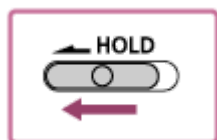
リモコンのホールドを解除するには、HOLDスイッチを「HOLD」の矢印と反対側にスライドさせてください。



ホールド状態にする

持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作することを防ぐために、各ボタン操作を無効にすることができます。

リモコンをホールド状態にするには、HOLDスイッチを「HOLD」の矢印の方向にスライドさせてください。



リモコンの電源を入れる

リモコンには電源ボタンがありません。

リモコンの電源が切れた状態でいずれかのボタンを押すと、リモコンの電源が入り、その後、本体との接続処理を行います。

接続処理中は、リモコンの動作表示ランプ（①）が点滅を繰り返します。



ご注意

- リモコンの動作表示ランプが点滅しているときは、本体とリモコンの接続処理中のため、リモコンのボタン操作ができません。点滅が消えてから操作してください。

リモコンの電源を切る

リモコンには電源ボタンがありません。以下のような場合に自動的に電源が切れます。

- 本体と接続されていない状態で、約5分間リモコンを操作しなかったとき
- 本体と接続されている状態で、本体の電源を切ったとき
- 本体と接続されている状態で、約2時間リモコンを操作しなかったとき

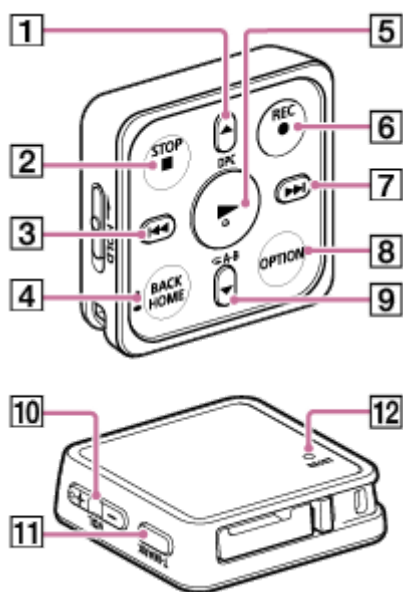
電源が切れると、リモコンの動作表示ランプが2秒間点灯します。

リモコンの電源が切れた後にリモコンで操作をする際は、リモコンの電源を入れてから、再度リモコンを操作してください。

リモコンのボタンについて

リモコンには以下のボタンがあります。

ボタンを押すとリモコンの動作表示ランプが1回点滅します。



1. ▲/DPC（速度調節）ボタン
2. ■STOP（停止）ボタン
3. ◀◀（早戻し／選択）ボタン
4. ●BACK/●HOME（戻る／ホーム（長押し））ボタン
5. ▶（再生／決定）ボタン
6. ●REC（録音）ボタン
7. ▶▶（早送り／選択）ボタン
8. OPTION（オプション）ボタン
9. ▼/↺ A-B（A-Bリピート）ボタン
10. VOL（音量）－／＋ボタン
11. T-MARK（トラックマーク）ボタン
12. RESET（リセット）ボタン

ご注意

- 電池が少なくなると、動作表示ランプの色が青から赤に変わります。

関連項目

- [リモコンの動作表示ランプを確認する](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

リモコンの動作表示ランプを確認する

リモコンの動作表示ランプは、リモコンの状態により、以下のように点滅もしくは点灯します。

動作表示ランプの表示	リモコンの状態
青（*）で2回点滅 	電源オン
青（*）で2秒点灯 	電源オフ
青（*）で4回点滅 	リモコンリセット完了
赤で点灯し続ける 	電池残量がないため操作できません。
青と赤で交互に点滅 	リモコン登録中
青（*）で2回点滅を繰り返す 	接続処理中
青（*）で1回点滅 	ボタン操作（接続後）

* リモコンの電池残量が少なくなると、ランプの色が赤に変わります。

ご注意

- ランプが点滅、点灯している間は操作できません。
- ランプが赤く点灯している場合は電池を交換してください。また、ランプが点滅している場合は、消灯するまでお待ちください。
- ランプの点滅が終わらない場合は、「[リモコンの電源が入らない、またはリモコンの操作ボタンを押しても動作しない。](#)」をご覧ください。

関連項目

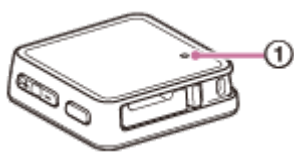
- [リモコンの電池を交換する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

リモコンをリセットする

リモコンの操作ができなくなったときは、リモコンをリセットする必要があります。

リセットするには、ペン先や伸ばしたクリップなどを使ってリモコン底面にあるRESETボタン（①）を押してください。

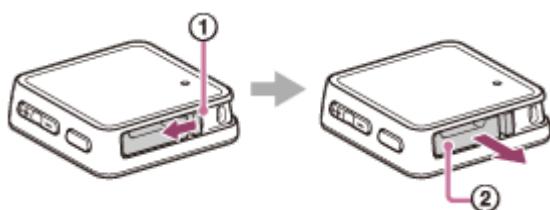


リモコンの電池を交換する

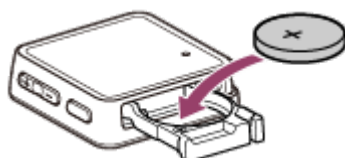
リモコンの電池の残量が少なくなると、リモコンの動作表示ランプの色が青から赤に変わり、電池の交換時期をお知らせします。

電池の残量が完全になくなると、動作表示ランプが赤く点灯し続け、操作ができなくなります。以下の手順に従って、電池を交換してください。必ずボタン型リチウム電池CR2032をお使いください。

- 1 リモコンの底面を上にする。
- 2 リモコン側面のタブ（①）を矢印の方向に押しながら、溝（②）に爪をかけて電池トレイを引き出す。



- 3 電池トレイから、使用済みの電池を取り出す。
- 4 +の面を上にして、新しい電池を電池トレイに入れる。



- 5 電池トレイをリモコンに入れる。
カチッと音がしてロックされたことを確認してください。
- 6 リモコンのRESETボタンを押す。

- 7 本体の電源を入れ、リモコンのいずれかのボタンを押す。

リモコンの電源が入り、本体との登録処理を行います。登録処理中は、リモコンの動作表示ランプが赤青交互に点滅します。

ご注意

- リモコンの動作表示ランプが点滅しているときは、本体とリモコンの登録処理中のため、リモコンのボタン操作ができません。点滅が消えてから操作をしてください。

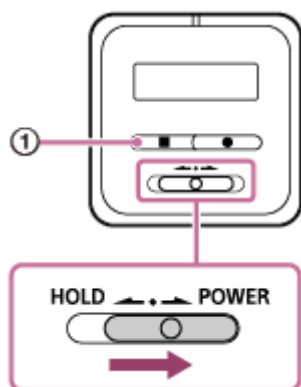
関連項目

- [リモコンの動作表示ランプを確認する](#)

本体にリモコンを登録する

お買い上げ時の状態では、すでに本体にリモコンが登録されていますが、修理に出していたリモコンが戻ってきた際などに、以下の手順で本体にリモコンを登録し直す必要があります。

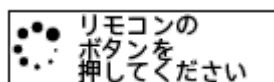
- 1 本体が電源オフの状態、本体の ■ STOPボタン (①) を押しながら、本体のHOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせたままの状態を8秒間維持する。



画面が消えたらリスタートが行われるので、本体の ■ STOPボタンを押したまま、HOLD・POWERスイッチから指を離してください。

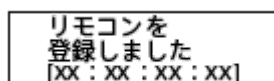
- 2 本体の画面に「Power On」と表示されたら、本体の ■ STOPボタンから指を離す。

画面に「リモコンのボタンを押してください」と表示されます。



- 3 リモコンのRESETボタンを押してから、リモコンのいずれかのボタンを押す。

リモコンの動作表示ランプが赤青交互に点滅し、登録処理が始まります。
登録処理が終わると、「リモコンを登録しました」と表示されます。



ご注意

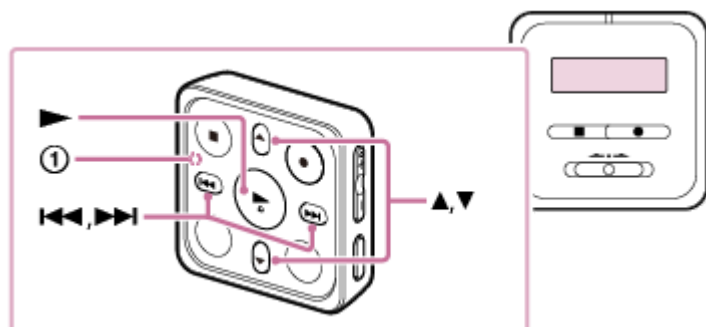
- 登録処理中はリモコンのボタン操作ができません。リモコンの動作表示ランプの点滅が消えてから操作してください。
- リモコンを操作できない場合は、リモコンがホールド状態でないかを確認してください。

関連項目

- [リモコンの動作表示ランプを確認する](#)
- [リモコンを操作する](#)

初期設定をする

お買い上げのあと、初めて本体の電源を入れた際に「初期設定をしてください」と表示されます。
リモコンを使って、初期設定を行ってください。



- ① リモコンのHOLDスイッチを「HOLD」の矢印と反対側にスライドさせる。

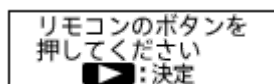
リモコンの裏面にある黄色いラベルを取り外してください。

- ② 「初期設定をしてください」と表示されたら、リモコンのいずれかのボタンを押す。

リモコンの電源が入ります。

ボタンを押して動作表示ランプ（①）が点滅した場合は、点滅が消えてから次の手順に進んでください。

- ③ リモコンの▶（決定）ボタンを押す。



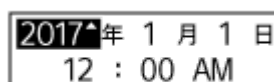
- ④ 年月日と時分を合わせる。

▲または▼ボタンを押して、年の数字（西暦）を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀または▶ボタンを押して、次の項目に進んだり、前の項目に戻ったりすることができます。

また、BACK/HOMEボタンを押して、1つ前の項目に戻ることもできます。

「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

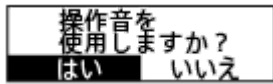


- ⑤ ◀または▶ボタンを押して「次へ」を選ぶ。



操作音の設定画面が表示されます。

- ⑥ ◀または▶ボタンを押して「はい」または「いいえ」を選び、▶ボタンを押す。




設定が完了すると、ホームメニューが表示されます。

ご注意

- 操作音は、本体にヘッドホンを接続して使用するときのみ聞こえます。
- 画面は一定時間で自動的に消えます。
画面を表示したいときは、BACK/HOMEボタンを押してください。

ヒント

- 時計設定と操作音設定は、ホームメニュー－「 各種設定」－「共通設定」で後から変更することもできます。
- 初期設定後、本体をホールドにすると現在時刻が表示されます。

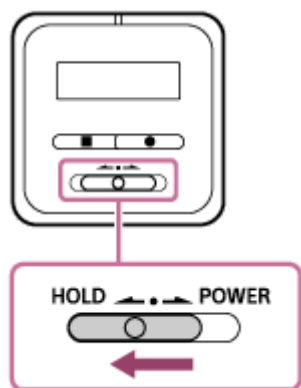
関連項目

- [日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）](#)
- [操作音の設定をする（操作音）](#)
- [ホームメニュー操作時](#)

本体の誤操作を防止する（ホールド）

本体を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます（ホールド）。

- 1 本体のHOLD・POWERスイッチを「HOLD」の方向にスライドさせる。



電源が入っているときに操作すると、「ホールド」と現在時刻が約3秒間表示され、本体の各ボタン操作が無効になります。

ホールド 12:00 AM

ご注意

- ホールドにした場合、本体の各ボタン操作が無効になります。操作する場合は、ホールドを解除してください。

ヒント

- 本体がホールド状態でも、リモコンを使って操作することができます。

関連項目

- [本体のホールドを解除する](#)
- [リモコンを操作する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

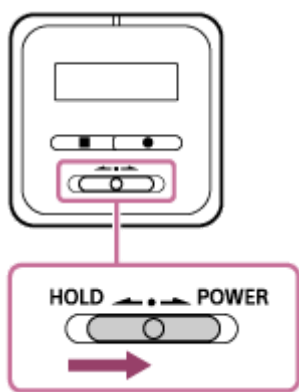
本体のホールドを解除する

本体がホールド状態のときに、本体のボタンを操作すると、「ホールド中 HOLDスイッチを解除してください」と表示されます。

ホールド中
HOLD スイッチを
解除してください

ホールド機能を解除してボタン操作ができるようにしてください。

- 1 本体のHOLD・POWERスイッチを中央位置にスライドさせる。

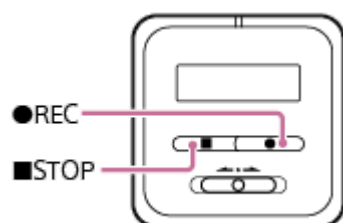


関連項目

- [本体の誤操作を防止する（ホールド）](#)
- [リモコンを操作する](#)

内蔵マイクで録音する


ここでは、基本的な録音操作の手順について説明します。設定したマイク感度と録音モードで録音を行います。



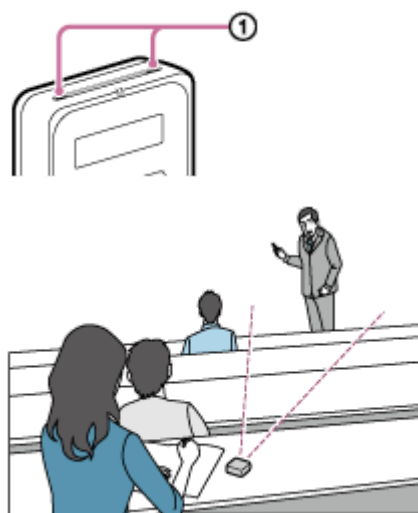
ご注意

- 録音する前に、本体とリモコンがホールド状態でないことを確認してください。
- 録音は、本体またはリモコンのどちらからでも行うことができますが、必ず本体の動作表示ランプで録音開始されたことを確認してください。リモコンでは、本体の動作状態を確認することはできません。また、リモコンから録音を行う際は、必ず本体およびリモコンの電源が入っていることを事前に確認してください。
- 録音中、本体に手などがあたったり、こすったりすると雑音が入ってしまうことがあります。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。録音モニターの方法について詳しくは、「[録音中の音をモニターする](#)」をご覧ください。
- 録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されます。「FOLDER01」以外のフォルダに録音したい場合は、「[録音先フォルダを変更する](#)」をご覧ください。

1 本体の内蔵マイク (①) を録音する音の方向へ向ける。



2 ●RECボタンを押す。

本体の画面に「REC」が表示されて録音が始まり、動作表示ランプ (②) が赤く点灯します。



3 ■STOPボタンを押して録音を止める。

「保存中」と表示され、録音が停止します。

ご注意

- 画面上に「保存中」と表示されている間は、メモリーへ録音データを記録しています。別売のUSB ACアダプターを使用している場合は、USB ACアダプターを抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

ヒント

- 録音を保存するフォルダを変更したい場合は、録音停止中にオプションメニューから「録音先フォルダ」画面を表示し、フォルダを指定してください。
- 録音停止中にオプションメニューから「シーンセレクト」を選べると、録音シーンにあわせた設定を行うことができます。
- 録音停止中にリモコンの▶ ボタンを押すと、直前に録音したファイルをはじめから聞くことができます。
- 再生中やメニューを表示中でも、● RECボタンを押すと録音を開始できます。
- 録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。付属の専用ヘッドホン接続ケーブルを使用して、付属のステレオヘッドホンを本体につないでください。
- ファイルは、録音開始日時に録音モードの拡張子が付いたもの（例：171010_0706.mp3）がファイル名となります。
- 録音の途中でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1GB）を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。

ICレコーダー
ICD-TX800

本体の電源がオフのときに録音を開始する（ワンプッシュ録音）

本体の電源がオフのときでも、本体の●RECボタンを押すと電源が入り、録音が始まります。
録音を止めるには、■STOPボタンを押してください。

ご注意

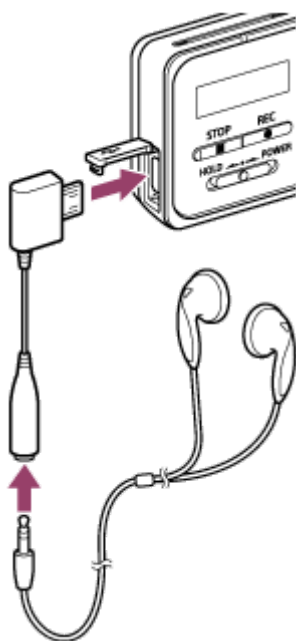
- 本体のPOWER・HOLDスイッチを「HOLD」にしている場合は、●RECボタンを押しても録音は開始されません。
- ワンプッシュ録音は、本体の●RECボタンでのみ操作できます。リモコンの●RECボタンでは機能しません。

ICレコーダー
ICD-TX800

録音中の音をモニターする

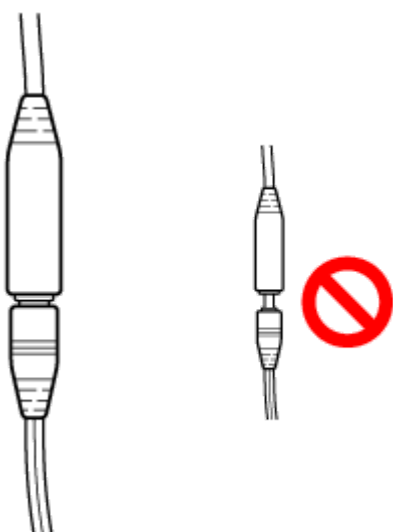
録音の際は、録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。

録音中の音を確認するには、付属の専用ヘッドホン接続ケーブルを使用して、付属のステレオヘッドホン本体をつないでください。



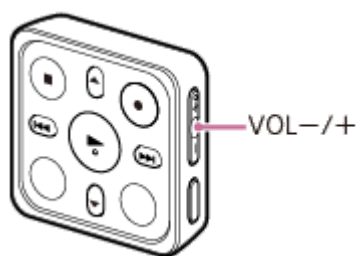
- 1 付属の専用ヘッドホン接続ケーブルを使用して、付属のステレオヘッドホン本体のUSB端子／ヘッドホン出力端子につなぐ。

ヘッドホン専用ヘッドホン接続ケーブルに奥までしっかりと差し込んでください。ヘッドホンが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。



- 2 リモコンのVOL- / + ボタンを押して音量を調節する。

録音される音量に影響はありません。



関連項目

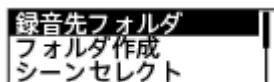
- [内蔵マイクで録音する](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

録音先フォルダを変更する

お買い上げ時には、通常録音の録音先フォルダが「FOLDER01」に設定されています。
以下の手順に従ってリモコンを操作して、録音先フォルダの設定を変更することができます。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「録音先フォルダ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押してフォルダを選び、▶ ボタンを押す。

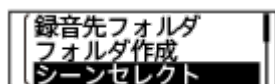
ヒント

- 新規フォルダの作成方法については、「[フォルダを作成する](#)」をご覧ください。

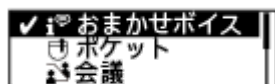
用途に合わせた録音シーンを選ぶ

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます（シーンセレクト機能）。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 録音停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー - 「シーンセレクト」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、好みのシーンを選び、▶ ボタンを押す。



メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

録音シーンを選ばないときに選択します。

i おまかせボイス：

音声全般を録音するときに適しています（お買い上げ時の設定）。

👛 ポケット：

衣服のポケットなどに付けて録音するときに適しています。

👥 会議：

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。

🎤 講演：

講演会や講義を録音するときに適しています。

🗣️ ボイスメモ：

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。録音画面には、🗣️ が表示されます。

🔑 インタビュー：


インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1 ～ 2 m くらいの距離で人の声を録音するときに適しています。録音画面には、👥 が表示されます。

関連項目

- [シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について](#)
- [各種設定メニュー一覧](#)

フォーカス録音／ワイド録音を設定する

録音シーンや用途に合わせて、フォーカス録音またはワイド録音に設定します。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「各種設定」 - 「録音設定」 - 「フォーカス／ワイド」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
- 2 ▲または▼ボタンを押して好みの設定を選び、▶ ボタンを押す。

フォーカス録音

録音対象の両サイドの音を抑えることで、前方の音をしっかり録音。指向性が強く、狙った音にフォーカスできるので、講演会やセミナーなど広い会場での録音やインタビューに役立ちます。
シーンセレクト機能で「講演」を選択すると、フォーカス録音に設定されます。



ワイド録音

左右の定位を強調することで声の重なりを減らして、ステレオ感を向上。人の位置関係が明瞭になり誰の発言が分かりやすくなるので、聞き取りや書き取りが快適です。
シーンセレクト機能で「会議」を選択すると、ワイド録音に設定されます。



メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

フォーカス録音／ワイド録音を解除します。（お買い上げ時の設定）

フォーカス：

フォーカス録音に設定します。

ワイド：

ワイド録音に設定します。

ご注意

- マイク感度設定が「オート」に設定されている場合は、フォーカス／ワイド録音の設定が無効になります。

関連項目

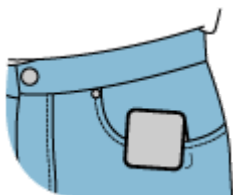
- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- [マイク感度を設定する（マイク感度設定）](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

より良い音で録音するには

会話録音

衣服のポケットなどに付けて録音します。
シーンセレクトを使うときは、「ポケット」を選びます。



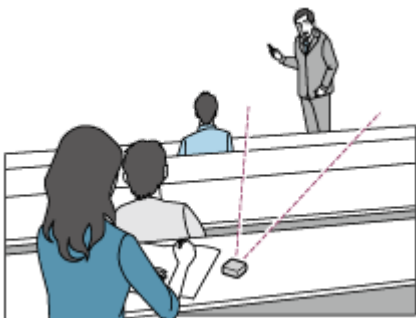
会議録音

発表者に近い場所で録音してください。
ハンカチなどの上に本体を乗せることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。
シーンセレクトを使うときは「おまかせボイス」または「会議」を選びます。



授業・講演会録音

マイクを音源の方向に向けて録音します。
シーンセレクトを使うときは「講演」を選びます。



メモ録・口述録音

録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。
シーンセレクトを使うときは「おまかせボイス」または「ボイスメモ」を選びます。

ご注意

- 本体を手にとって録音するときは、本体に触れたときのノイズ（タッチノイズ）が録音されないようにしてください。



インタビュー録音

マイクをインタビュー相手に向けて録音します。
シーンセレクトを使うときは「おまかせボイス」または「インタビュー」を選びます。








関連項目

- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- [ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)
- [マイク感度を設定する（マイク感度設定）](#)

シーンセレクト機能のお買い上げ時の録音設定について

シーンセレクト機能の各項目は、以下のように設定されています（お買い上げ時の設定）。

	 おまかせボイス	 ポケット	 会議	 講演
録音モード	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps	MP3 192 kbps
マイク感度設定	オート	中	中	中
フォーカス/ワイド	オフ	オフ	ワイド	フォーカス
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF(Noise Cut)	LCF(Low Cut)	NCF(Noise Cut)	NCF(Noise Cut)

	 ボイスメモ（*1）	 インタビュー（*2）	オフ
録音モード	MP3 128 kbps	MP3 128 kbps	MP3 192 kbps
マイク感度設定	低	中	中
フォーカス/ワイド	オフ	オフ	オフ
VOR	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	LCF(Low Cut)	NCF(Noise Cut)	オフ

*1 録音画面では、 が表示されます。

*2 録音画面では、 が表示されます。

関連項目

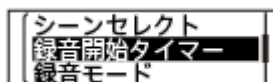
- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)

録音開始タイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に録音を開始します。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 録音停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー - 「録音開始タイマー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して時間を設定し、▶ ボタンを押す。

15秒から60分まで設定できます。



カウントダウン画面が表示されます。



設定した時間が経過すると、録音が始まります。

ご注意

- カウントダウン中は、リモコンのOPTIONボタン、T-MARKボタン、▶ ボタン、■ STOPボタン、▲ または ▼ ボタン、◀◀ または ▶▶ ボタンを使用できません。
- カウントダウン中に電源オフの操作をした場合や、スリープタイマーの設定時間が経過した場合は、電源が切れます。
- カウントダウン中にオートパワーオフの設定時間が経過しても、電源は切れません。

ヒント

- 録音開始タイマーを解除するには、カウントダウン画面でBACK/HOMEボタンを押し、◀◀ または ▶▶ ボタンを押し、「はい」を選び、▶ ボタンを押して決定します。
- カウントダウン中に● RECボタンを押すと、タイマーは解除され、録音が始まります。


関連項目

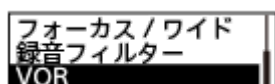
- [スリープタイマーを使う（スリープタイマー）](#)
- [本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)

音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー－「各種設定」－「録音設定」－「VOR」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して、「オン」を選び、▶ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

- 3 ●RECボタンを押す。

「VOR」表示と  ●REC が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、本体の画面にある「VOR」表示が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。

VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度の設定方法については、「[マイク感度を設定する（マイク感度設定）](#)」をご覧ください。
マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。

ヒント

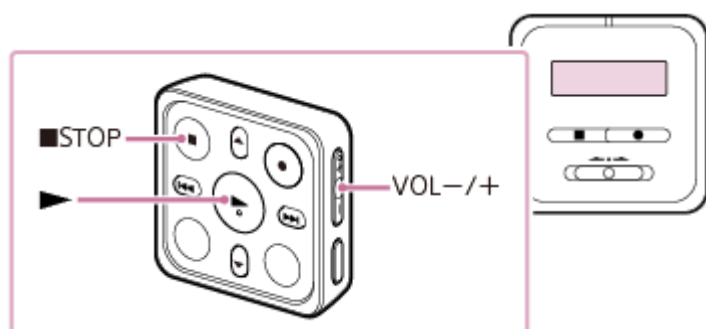
- VOR録音を解除するには手順2で「VOR」を「オフ」にします。

ファイルを再生する

ホームメニューからファイルを選び、再生します。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

ご注意

- 本機にはスピーカーが内蔵されていません。音声を聞くには、付属のヘッドホンを専用ヘッドホン接続ケーブルで本体に接続する必要があります。再生の操作はリモコンで行います。



- 1 付属の専用ヘッドホン接続ケーブルを使用して、本体のUSB端子／ヘッドホン出力端子と付属のステレオヘッドホンを接続する。
- 2 リモコンを操作して、ホームメニューで「🎵 ミュージック」または「📁 録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ファイルを検索して選ぶ。
ファイルの検索方法については、「[ファイルを選ぶ](#)」をご覧ください。
- 4 ▶ ボタンを押す。
再生が始まります。
- 5 VOL-/+/ ボタンを押して、音量を調節する。

ご注意

- 本機はBluetoothプロファイル（A2DP、AVRCP）に対応していないため、Bluetoothオーディオ機器やスマートフォンなどの外部機器と接続して、外部機器から再生することはできません。ICレコーダー内にあるファイルは、ICレコーダーでのみ再生できます。

ヒント

- 再生を止めるには、■ STOPボタンを押してください。
- 録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ ボタンを押すと、録音したファイルを再生できます。

関連項目

- [いろいろな再生操作](#)
- [パソコンからコピーした音楽ファイルをICレコーダーで再生する](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ファイルを選ぶ

ホームメニューから再生、編集するファイルを選ぶことができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

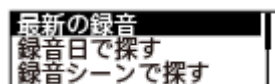
- 1 リモコンを操作して、ホームメニューで「🎵ミュージック」または「📁録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。

- 2 ファイルの検索方法を選ぶ。

▲または▼ボタンを押してファイルを検索する方法を以下から選び、▶ ボタンを押します。

🎵 ミュージック：「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」

📁 録音したファイル：「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」または「フォルダ」



- 3 検索結果からリストまたはフォルダを選び、ファイルを選ぶ。

▲または▼ボタンを押してリストまたはフォルダを選び、ファイルを選びます。

ヒント

- お買い上げ時、「📁録音したファイル」には「FOLDER01」のフォルダが作成されています。

ICレコーダー
ICD-TX800

トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す

トラックマーク一覧に表示されたトラックマークから、目的の再生位置を簡単に探すことができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー－「トラックマーク一覧」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して目的のトラックマークを選び、▶ ボタンを押す。

選択したトラックマークの位置からファイルが再生されます。

いろいろな再生操作

再生中には、リモコンを使用して次のような操作を行うことができます。

再生の途中、その位置で停止する

- STOPボタンを押す。
- ▶ ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの先頭に戻る

- ◀◀ ボタンを短く1回押す。
- トラックマークが設定されている場合は、前のトラックマークの位置まで戻ります。
(メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です。)

前のファイル、さらに前のファイルに戻る

- ◀◀ ボタンを短く何回か押す。

次のファイルに進む

- ▶▶ ボタンを短く1回押す。
- トラックマークが設定されている場合は、後のトラックマークの位置まで進みます。
(メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です。)

さらに次のファイルに進む

- ▶▶ ボタンを短く何回か押す。

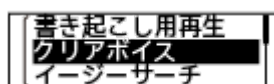
関連項目

- [トラックマークを付ける](#)
- [すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)
- [早送り／早戻しする（キュー／レビュー）](#)

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする – クリアボイス機能

録音したファイルの再生時に、クリアボイス機能を有効に設定すると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー – 「クリアボイス」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、「クリアボイス1」または「クリアボイス2」を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

クリアボイス機能を解除します（お買い上げ時の設定）。

クリアボイス1：

音声以外のノイズを低減し、声の大きさを自動調整して聞きやすいクリアな音になります。

クリアボイス2：

「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。

ご注意

- 「🎵 ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

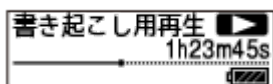
録音を書き起こす（書き起こし用再生）

ファイルを早送り／早戻ししながら聞きたい箇所を探したり、デジタルピッチコントロール（DPC）で速度調節しながら再生することができます。議事録等を書き起こすときに便利なモードです。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 再生停止中にリモコンを操作して、オプションメニュー - 「書き起こし用再生」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▶ ボタンを押して再生を開始する。



書き起こし用再生中は次の機能を使用して、再生音を調整することができます。

- DPC：再生速度を変更して聞き取りやすくすることができます。▲ DPC（速度調節）ボタンを押すと、DPC設定画面が表示されます。▲ または ▼ ボタンを押して速度を調節し、▶ ボタンを押して決定します。
- イージーサーチ：◀◀ または ▶▶ ボタンを押して聞きたいところをすばやく探すことができます。
- キュー・レビュー：◀◀ または ▶▶ ボタンを押したままにして早戻し／早送りし、聞きたいところを探すことができます。

ご注意

- スリープタイマーの設定時間が経過すると、書き起こし用再生中でも電源が切れます。
- 書き起こし用再生中は次の機能が働きません。
 - 再生モード
 - A-B リピート
 - 長押しリピート再生機能

ヒント

- 再生を止めるには、■STOPボタンを押してください。
- 書き起こし用再生モードを終了するには、書き起こし用再生中または再生停止中にオプションメニュー - 「書き起こし終了」を選びます。
- 違うファイルを聞きたいときは、BACK/HOMEボタンを押してファイル一覧を表示し、別のファイルを選択してください。

関連項目

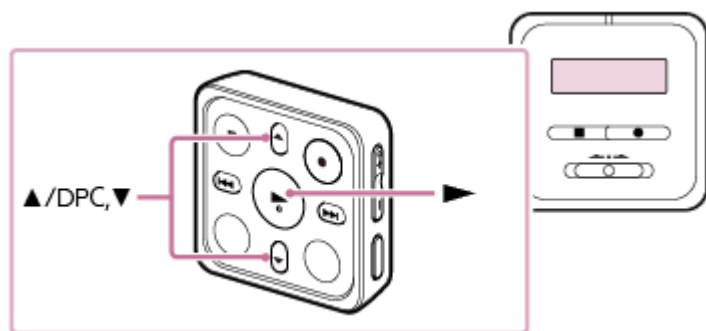
- [再生速度を調節する - DPC（Digital Pitch Control）](#)
- [すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)

再生速度を調節する — DPC (Digital Pitch Control)

再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

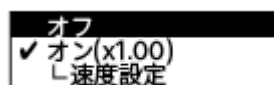
再生中に加え、書き起こし用再生中も再生速度を変えることができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。



- 1 再生停止中／再生中にリモコンの ▲ DPC (速度調節) ボタンを押す。

DPC設定画面が表示されます。



- 2 ▲または▼ボタンを押して、「速度設定」を選び、▶ボタンを押す。

- 3 ▲または▼ボタンを押して、再生速度を選び、▶ボタンを押す。

×0.25 ～×1.00倍速の間は、0.05倍速刻みで、×1.00 ～×3.00倍速の間は、0.10倍速刻みで調節することができます。

お買い上げ時は、「×1.00」に設定されています。

再生速度を選択すると、DPCの設定が「オン」になります。

ヒント

- 通常の再生速度に戻すには、手順2で「オフ」を選びます。

関連項目

- [録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)

再生モードを変える

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー - 「再生モード」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ ボタンを押して再生モードを選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

ノーマル：

再生範囲のファイルを順に再生する。

◀ リピート：

再生範囲のファイルを順に繰り返し再生する。

1 1ファイル再生：

再生中または再生を始めたファイルだけを再生する。

◀ 1 1ファイルリピート：

再生中または再生を始めたファイルを繰り返し再生する。

🔄 シャッフル：

再生範囲の曲を順不同に再生する。

🔄 シャッフルリピート：

再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生する。

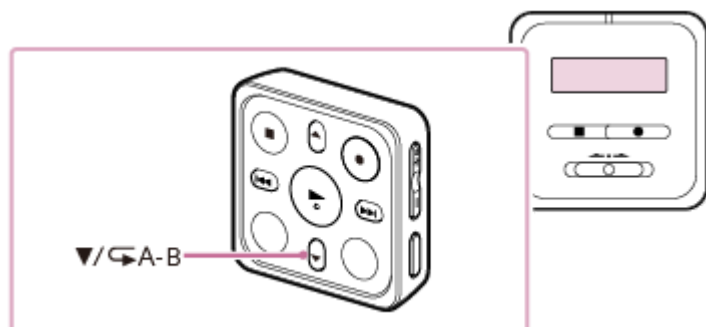
関連項目

- [必要な部分だけを再生する - A-Bリピート](#)
- [1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）](#)

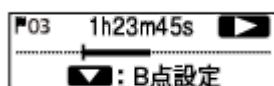
必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

指定したA点とB点の区間を繰り返して再生することができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

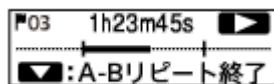


- 1 再生停止中／再生中にリモコンの ▼/↶ A-Bボタンを押して、A点を指定する。



- 2 もう一度 ▼/↶ A-Bボタンを押して、B点を指定する。

指定した区間が繰り返し再生されます。



ご注意

- 再生停止中、A点を指定したあと、同じ場所にB点を指定することはできません。この場合、A点がキャンセルされます。
- A-Bリピート再生中、長押しリピート再生機能は使用できません。

ヒント

- A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには、 ▼/↶ A-Bボタンをもう一度押します。
- A-Bリピートの範囲を変えるには、通常の再生に戻したあとに、もう一度手順1と2を行ってください。

関連項目

- [再生モードを変える](#)
- [1ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）](#)

1 ファイルをリピート再生する（長押しリピート再生機能）

簡単に再生中のファイルをリピート再生することができます。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

1 再生中にリモコンの▶ ボタンを長押しする。

「1」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。

ご注意

- A-Bリピート再生中は、長押しリピート再生機能を使うことができません。

ヒント

- 長押しリピート再生機能を解除するには、▶ ボタンまたは■ STOPボタンを押します。
- 再生モードを設定している場合でも、長押しリピート再生機能を使うことができます。



関連項目

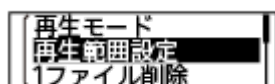
- [必要な部分だけを再生する](#) — A-Bリピート

再生範囲を指定する

ファイルの再生リストの中から再生する範囲を指定できます。選択したファイルやミュージックの検索方法によって、再生する範囲は変わります。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニューで「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、ファイルの検索方法を選んで ▶ ボタンを押す。
- 3 再生するファイルを選び、▶ ボタンを押す。
- 4 再生停止中／再生中にオプションメニュー - 「再生範囲設定」を選び、▶ ボタンを押す。



- 5 ▲ または ▼ ボタンを押して、「全範囲を再生」または「選択範囲内を再生」を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

全範囲を再生：

録音したファイルの再生、ミュージック再生で選んだ検索方法の対象となるファイルをすべて再生します。

選択範囲内を再生：

再生中のファイルを含むフォルダ（録音日、録音シーン、アーティスト、アルバムなど）の中の内容のファイルを再生します。

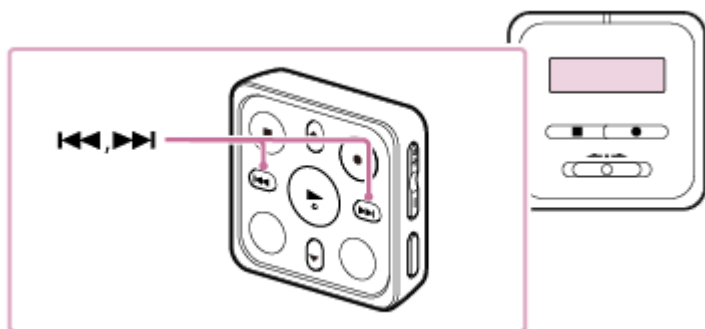
選択範囲内を再生すると、再生画面にフォルダアイコンが表示されます。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)

早送り／早戻しする（キュー／レビュー）

リモコンを使って、再生停止中／再生中に早送りや早戻しをして聞きたい場所を探します。



- 早送り（キュー）：
再生停止中／再生中にリモコンの **▶▶** ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
再生停止中／再生中にリモコンの **◀◀** ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

関連項目

- [すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)

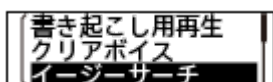
すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）

イージーサーチ機能を使うと再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

また、早送り／早戻しの間隔を設定することで、会議録音など長時間録音したもので、聞きたいところをすばやく探すことができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 再生停止中／再生中にリモコンを操作して、オプションメニュー - 「イージーサーチ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して「間隔設定」を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 早送り、早戻しの間隔を設定する。

▲ または ▼ ボタンを押して「イージーサーチ送り」または「イージーサーチ戻し」を選び、▶ ボタンを押してください。

同じ操作を繰り返し、早戻し／早送りの間隔（時間）を選び、▶ ボタンを押してください。

早戻し／早送りの間隔を設定すると、イージーサーチ機能が「オン」になります。

- 4 ▲ または ▼ ボタンを押して「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

イージーサーチ機能を無効にします（お買い上げ時の設定）。

オン：

再生中、▶▶ ボタンを押すと、設定した間隔進み、◀◀ ボタンを押すと、設定した間隔戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

間隔設定：

- イージーサーチ送り：▶▶ ボタンを押したときに進む間隔を、5秒、10秒（お買い上げ時の設定）、30秒、1分、5分、10分から選びます。
- イージーサーチ戻し：◀◀ ボタンを押したときに戻る間隔を、1秒、3秒（お買い上げ時の設定）、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分から選びます。

ヒント

- 「書き起こし用再生」時にも間隔を設定できます。「書き起こし用再生」について詳しくは、「[録音を書き起こす（書き起こし用再生）](#)」をご覧ください。

関連項目

- [早送り／早戻しする（キュー／レビュー）](#)

REC Remoteでできること

REC Remoteをお使いのスマートフォンにインストールして本体とBLUETOOTH®接続すると、スマートフォンで以下の操作ができます。


- 録音開始／停止
- トラックマークの追加
- 録音設定の変更



ご注意

- REC Remoteは録音専用のアプリです。再生などの操作および録音時のモニター音には対応していません。録音したファイルを再生する場合は、ICレコーダーを操作してください。
- スマートフォンに保存されている音楽ファイルを聞いたり、本体へ転送したりすることはできません。
- 本機はBluetoothプロファイル（A2DP、AVRCP）に対応していないため、Bluetoothオーディオ機器やスマートフォンなどの外部機器と接続して、外部機器から再生することはできません。ICレコーダー内にあるファイルは、ICレコーダーでのみ再生できます。
- ICレコーダーをREC Remoteに接続するためには、最新のREC Remoteをインストールする必要があります。すでにREC Remoteをお使いの方も、必ず最新バージョンにアップデートしてください。

ヒント

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth接続中でも、停止状態で一定時間無操作が続いた場合、本体のオートパワーオフ機能が働きます。オートパワーオフ機能の設定を変更するには、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「オートパワーオフ」を選択し、お好みの設定を選択してください。
- スマートフォンのBluetooth設定の方法については、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

REC Remoteを準備する

REC Remoteを使用するには、REC Remoteをスマートフォンにインストールする必要があります。

ご注意

- 本体をREC Remoteに接続するためには、最新のREC Remoteをインストールする必要があります。すでにREC Remoteをお使いの方も、必ず最新バージョンにアップデートしてください。

1 REC Remoteをスマートフォンにインストールする。

1. Google PlayストアまたはApp Storeで「REC Remote」を検索する。
2. 画面の指示に従って、スマートフォンにREC Remoteをインストールする。




インストール後、表示される画面にて「ソフトウェア使用許諾誓約書」を確認し、「同意してはじめる」をタップしてください。

スマートフォンと本体をBluetooth接続する

本体とスマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続します。

Bluetooth機器同士をはじめてワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録（ペアリング）しあう必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

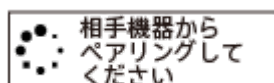
1 ICレコーダーを操作する。

リモコンを操作して、ホームメニュー－「 REC Remote」－「機器登録（ペアリング）」を選び、▶ ボタンを押します。

Bluetooth機能がオフになっている場合は、「Bluetoothをオンにしますか？」と表示されるので、「はい」を選びます。




「相手機器からペアリングしてください」と表示され、本体のBluetoothランプが点滅します。



2 スマートフォンを操作する。

● Android™の場合

1. Bluetooth機能をオンにする。
2. REC Remoteを起動する。
3. 表示された画面で、 をタップする。
4. 「機器登録」画面で、「レコーダーとペアリングする」を選択する。
5. Bluetooth設定画面で、ICD-TX800を検索し、互いの機器をペアリングする。
6. 戻るボタンで、「機器登録」画面を表示し、ICD-TX800を選択する。
7. 「登録完了」を選択する。

● iOSの場合

1. Bluetooth機能をオンにする。
2. Bluetooth設定画面で、ICD-TX800を検索し、互いの機器をペアリングする。
3. ホームボタンを押して、Bluetooth設定画面を終了し、REC Remoteを起動する。

REC Remoteの操作画面が表示されたら、接続は完了です。

「[スマートフォンで本体を操作する](#)」へ進んでください。

ご注意

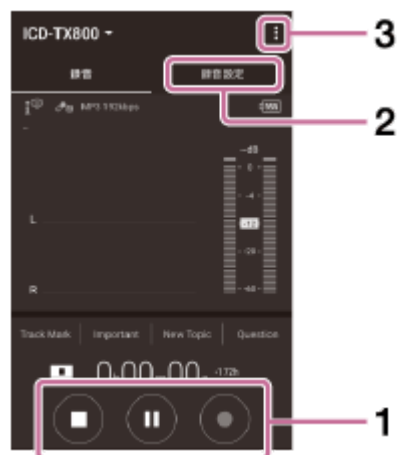
- 次のような場合は、機器登録（ペアリング）の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - － どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻ってしまった場合
 - － 修理を行ったなど、機器登録（ペアリング）の情報が削除されてしまった場合

ヒント

- Androidをお使いの場合、Bluetooth設定画面でICD-TX800が見つからない場合は、画面下部の「機器の検索」を選択して検索してください。
- Androidをお使いの場合、「ペア設定リクエスト」画面でパスコード確認のメッセージが表示されますが、そのまま「ペア設定する」を選択してください。
- Androidをお使いの場合、初回の起動時には手順7で機器詳細画面が表示されます。機器名を変更する場合は「編集」を選択し、変更後に「登録完了」を選択してください。
- Androidをお使いの場合、変更後の機器名は、REC Remoteアプリ内でのみ表示されます。お使いのスマートフォンのOS画面や、本体の画面上には表示されません。
- Androidをお使いの場合、2台目以降のレコーダーとスマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続するには、REC Remoteの操作画面で機器名をタップし、手順3以降の操作をしてください。

スマートフォンで本体を操作する

Bluetooth接続が完了すると、REC Remoteの画面が表示されます。



1. 録音操作ボタンで操作する。
 - 録音開始、|| 録音一時停止、■ 録音停止ができます。
2. 設定画面を表示する。
 - 「録音設定」タブを選択すると、録音設定を変更できます。
3. ヘルプを見る。
 - ☰ をタップすると、REC Remote のメニューが表示されます。メニュー内の「ヘルプ」をタップしてください。操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

ICレコーダー
ICD-TX800

Bluetooth接続を切断する

以下の手順でリモコンを操作して、スマートフォンと本体のBluetooth接続を切断します。

ICレコーダーのホームメニュー－「 REC Remote」－「Bluetoothオン/オフ」－「オフ」を選び、▶ ボタンを押します。

本体のBluetoothランプが消えます。


関連項目

- [スマートフォンと本体をBluetooth接続する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

Bluetooth接続を再接続する（Androidの場合）

以下の手順でリモコンを操作して、スマートフォンと本体をBluetooth接続で再接続します。

- 1 ICレコーダーのホームメニュー－「 REC Remote」－「Bluetoothオン/オフ」－「オン」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 スマートフォンでREC Remoteを起動する。
前回使用したICレコーダー本体に接続します。

関連項目

- [スマートフォンと本体をBluetooth接続する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

Bluetooth接続を再接続する（iOSの場合）

以下の手順でリモコンを操作して、スマートフォンと本体をBluetooth接続で再接続します。

- 1 ICレコーダーのホームメニュー－「 REC Remote」－「Bluetoothオン/オフ」－「オン」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 iPhoneのBluetooth設定画面で、ICD-TX800を選択する。
- 3 iPhoneでREC Remoteを起動する。

関連項目

- [スマートフォンと本体をBluetooth接続する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

Bluetooth情報を表示する

以下の手順でリモコンを操作して、Bluetooth機能の情報を表示します。

- 1 ICレコーダーのホームメニュー－「 REC Remote」－「Bluetooth情報」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



ファイルを削除する

ファイルを選択して削除することができます。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

ご注意

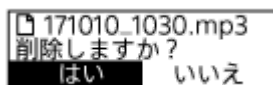
- 一度削除したファイルはもとに戻すことはできません。

- 1 リモコンを操作して、削除したいファイルを選ぶ。
- 2 オプションメニュー - 「1ファイル削除」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「削除しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- 3 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。



「お待ちください」と表示され、ファイルが削除されます。

ご注意

- 再生音は、本体にヘッドホンを接続して使用する時のみ聞こえます。
- 保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。
- 1つのファイルの一部分だけ削除するには、ファイル分割で削除する部分としない部分に分け、削除したい部分のファイルを選んで手順2から手順3の操作をします。ファイルの分割について詳しくは、「[現在位置でファイルを分割する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)
- [フォルダを削除する](#)

フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する

選択したフォルダまたはリスト内のファイルをすべて削除します。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニューで「🎵ミュージック」または「📁録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 ▲または▼ ボタンを押して、ファイルを検索する方法を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ▲または▼ ボタンを押して、削除したいファイルが入っているフォルダまたはリストを選び、▶ ボタンを押す。
- 4 オプションメニュー - 「フォルダ内全削除」または「リスト内全削除」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「フォルダ内のファイルを全て削除しますか？」または「リスト内のファイルを全て削除しますか？」と表示されます。

- 5 ◀◀または▶▶ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「お待ちください」と表示され、フォルダまたはリスト内の全ファイルが削除されます。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順5で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)
- [フォルダを削除する](#)

フォルダを削除する

選択したフォルダを削除します。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニューで「🎵ミュージック」または「📁録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押す。
- 2 ▲または▼ ボタンを押して「フォルダ」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ▲または▼ ボタンを押して、削除したいフォルダを選ぶ。
- 4 オプションメニューー 「フォルダ削除」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「削除しますか？」と表示されます。

- 5 ◀◀または▶▶ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
フォルダが削除されます。

フォルダ内にファイルがあるときは、「フォルダ内のファイルを全て削除しますか？」と表示されます。◀◀または▶▶ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押すと、フォルダ内のファイルごとフォルダが削除されます。ただし、フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

ご注意

- フォルダ内に保護設定されているファイルがあるときは、フォルダを削除できません。フォルダ内の保護されていないファイルのみが削除されます。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順5で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。
- 録音先フォルダを削除した場合は、「録音先フォルダを切り換えました」と表示され、お買い上げ時の設定である「FOLDER01」に録音先フォルダが切り換わります。
- 録音先フォルダが全て削除された場合は、「フォルダがありません。録音先フォルダを作成します。」と表示され、「FOLDER01」が自動的に作成されます。

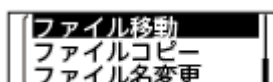
関連項目

- [ファイルを削除する](#)
- [フォルダまたはリスト内のファイルを一度に削除する](#)

ファイルを別のフォルダに移動する

選んだファイルをお好みのフォルダに移動できます。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、移動させたいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー - 「ファイル移動」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼ ボタンを押して、移動先のフォルダを選び、▶ ボタンを押す。



「お待ちください」と表示され、移動先フォルダにファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 音楽ファイルは、移動できません。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [ファイルを別のフォルダにコピーする](#)

ファイルを別のフォルダにコピーする

選んだファイルをお好みのフォルダにコピーできます。バックアップをとる場合などに便利です。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、コピーしたいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー - 「ファイルコピー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 3 ▲または▼ ボタンを押して、コピー先のフォルダを選び、▶ ボタンを押す。
「お待ちください」と表示され、コピー先フォルダにコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。


ご注意

- 音楽ファイルは、コピーできません。

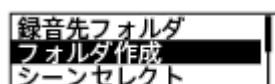
関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [ファイルを別のフォルダに移動する](#)

フォルダを作成する


録音した音声ファイルは、お買い上げ時の設定では「 録音したファイル」の「FOLDER01」フォルダに保存されますが、新しいフォルダを作成して、作成したフォルダを指定することで保存先を変更することができます。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニューで「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「フォルダ作成」を選び、▶ ボタンを押す。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、フォルダ名をテンプレートから選び、▶ ボタンを押す。
フォルダが作成されます。

ご注意

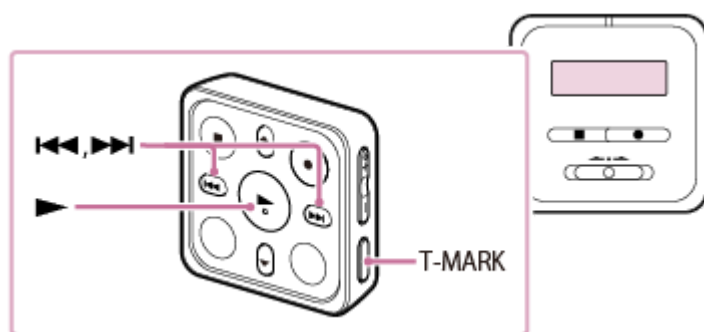
- 「 ミュージック」には、フォルダを作成できません。

ICレコーダー
ICD-TX800

トラックマークを付ける

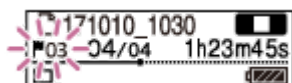
再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。



- 1 録音中、再生中または再生停止中に、トラックマークを付けたい場所でリモコンのT-MARKボタンを押す。

🚩（トラックマーク）表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。



ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- トラックマークを付けた位置を探して聞くには、再生停止中／再生中に ⏮ または ⏭ ボタンを押します。再生停止中の場合は、🚩（トラックマーク）表示が1回点滅してから ▶ ボタンを押すと再生されます。
- 書き起こし用再生中もトラックマークをつけることができます。
- 録音中、再生中または再生停止中にホームメニューを表示していても、T-MARKボタンを押すとトラックマークを付けられます。
- 専用ソフト（Sound Organizer 2）を使って、トラックマークに名前を付けることができます。ただし、ICレコーダーで表示されるトラックマーク名の文字数は最大16文字までです。
- スマートフォン用アプリ（REC Remote）を使うと、トラックマークを4種類の中から選んで付けることができます。

関連項目

- [トラックマークを自動で付ける](#)
- [トラックマークを削除する](#)

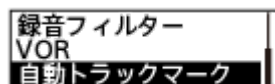


トラックマークを自動で付ける

通常録音中に、指定した間隔で自動的にトラックマークを付けられます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「自動トラックマーク」を選び、**▶ ボタン**を押す。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して「間隔設定」を選び、**▶ ボタン**を押す。

- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して間隔を選び、**▶ ボタン**を押す。

「5分」、「10分」、「15分」、「30分」から選びます。
設定が「オン」になります。

- 4 ▲ または ▼ ボタンを押して「時刻情報」を選び、「時刻情報を入れる」を有効にする。

自動トラックマークが付いたときの時刻の情報を、トラックマークに入れることができます。
長時間の会話などを録音する際に、トラックマークが付けられた時刻から目的の位置を探すときに便利です。

- 5 **BACK/HOME**ボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

ヒント

- 「自動トラックマーク」の設定を解除するには、手順2で「オフ」を選びます。
- 「自動トラックマーク」の設定を「オン」にしても、録音中にT-MARKボタンを押すと、お好みの位置にトラックマークを付けられます。

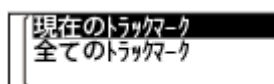
関連項目

- [トラックマークを付ける](#)
- [トラックマークを削除する](#)

トラックマークを削除する

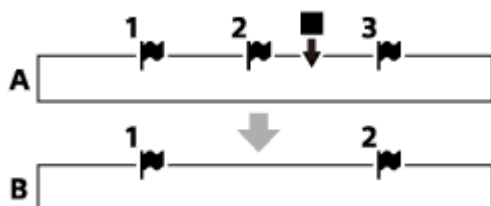
現在位置のトラックマークを削除します。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、トラックマークを削除したいファイルを選ぶ。
- 2 削除したいトラックマーク位置の後で再生を停止する。
- 3 オプションメニュー - 「トラックマーク削除」 - 「現在のトラックマーク」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「削除しますか？」と表示されます。

- 4 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「お待ちください」と表示され、トラックマークが削除されます。



- A. トラックマーク削除前：■ = 停止位置
B. トラックマーク削除後：停止位置の1つ前のトラックマークが削除される。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューからトラックマークを削除したいファイルを選んでください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順4で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [すべてのトラックマークを削除する](#)

すべてのトラックマークを削除する

選んだファイル内のすべてのトラックマークを削除します。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、トラックマークを削除したいファイルを選ぶ。
- 2 オプションメニュー - 「トラックマーク削除」 - 「全てのトラックマーク」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「トラックマークを全て削除しますか?」と表示されます。

- 3 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「お待ちください」と表示され、すべてのトラックマークが一度に削除されます。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューからトラックマークを削除したいファイルを選んでください。

ヒント

- 途中で削除をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

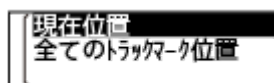
関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [トラックマークを削除する](#)

現在位置でファイルを分割する

停止中にファイルを分割して、そのファイル名に新しい番号が付けられます。会議など1つのファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくことで、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、分割したいファイルを選び、分割したい位置で再生を停止する。
- 2 オプションメニュー - 「分割」 - 「現在位置」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「現在の停止位置で分割しますか？」と表示されます。

- 3 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

「お待ちください」と表示されて、ファイルが分割されます。分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。

A	ファイル1	ファイル2	ファイル3
	↓	▲	
B	ファイル1	ファイル2_01	ファイル2_02
	ファイル3		

A. 分割前：▲ = 分割位置

B. 分割後：分割したファイル名の末尾に連番（「_01」、「_02」）が付く。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 途中で分割をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する](#)

すべてのトラックマーク位置でファイルを分割する

トラックマークのある位置でファイルを分割することができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、分割したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー - 「分割」 - 「全てのトラックマーク位置」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「全てのトラックマーク位置で分割しますか？」と表示されます。

- 3 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

「お待ちください」と表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置でファイルが分割されます。分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。



A. 分割前：旗のアイコン = トラックマーク位置

B. 分割後：トラックマーク位置でファイルが分割され、分割したファイル名の末尾に連番（「_01」、「_02」）が付く。

ご注意

- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- ファイルの先頭や終端から近い位置にあるトラックマークは、分割されずにファイルに残る場合があります。

ヒント

- 途中で分割をやめるには、手順3で「いいえ」を選び、▶ ボタンを押します。


関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)
- [現在位置でファイルを分割する](#)



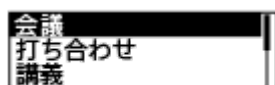
フォルダ名を変更する

ICレコーダーで録音できるフォルダに対して、フォルダ名を変更することができます。
変更するフォルダ名は、テンプレートから選ぶことができます。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 録音したファイル」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、「フォルダ」を選ぶ。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して、名前を変更したいフォルダを選ぶ。
- 4 オプションメニュー - 「フォルダ名変更」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 5 ▲ または ▼ ボタンを押して、お好みのフォルダ名を選び、▶ ボタンを押す。



「お待ちください」と表示され、フォルダ名が変更されます。

ご注意

- 「 ミュージック」内のフォルダは、操作できません。


ヒント

- フォルダ名の末尾には、常に01 ～ 10の数字が付きます。同じフォルダ名を選んだときは、02 ～ 10の数字が付きます。

関連項目

- [ファイル名を変更する](#)

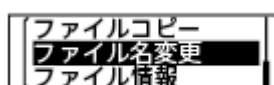
ファイル名を変更する

ホームメニューの「 録音したファイル」内のファイルに対して、ファイル名の先頭に文字を追加することができます。

追加する文字は、テンプレートから選ぶことができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ファイル名を変更したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中に、オプションメニュー - 「ファイル名変更」を選び、▶ ボタンを押して決定する。




- 3 ▲または▼ ボタンを押して、ファイル名の先頭に追加したい文字を選び、▶ ボタンを押す。



「お待ちください」と表示され、選択した文字または記号と「__」が、ファイル名の先頭に追加されます。

例（171010_0706.mp3 に「重要」を追加した場合）：重要_171010_0706.mp3

ご注意

- 保護設定されているファイルは、操作できません。保護設定を解除してから操作してください。ファイルの保護設定の解除方法については、「[ファイルを保護する](#)」をご覧ください。
- 「 ミュージック」内のファイルは、操作できません。

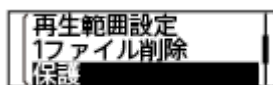
関連項目

- [フォルダ名を変更する](#)

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って削除、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルは、削除、編集ができない読み取り専用ファイルになります。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、保護したいファイルを選ぶ。
- 2 再生停止中にオプションメニュー - 「保護」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「お待ちください」と表示されたあと、「保護しました」と表示され、ファイルが保護されます。
保護されたファイルは、ファイル情報表示画面で「ファイルの保護」に「保護あり」と表示されます。

ヒント

- 保護を解除するには、保護設定されたファイルを選び、手順2で「保護解除」を選びます。

関連項目

- [ファイルを選ぶ](#)

各種設定メニュー一覧

ホームメニューの「 各種設定」のメニュー一覧を紹介します。

録音設定

- 録音先フォルダ：
[録音先フォルダを変更する](#)
- フォルダ作成：
[フォルダを作成する](#)
- シーンセレクト：
[用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- 録音モード：
[録音モードを選ぶ（録音モード）](#)
- マイク感度設定：
[マイク感度を設定する（マイク感度設定）](#)
- フォーカス／ワイド：
[フォーカス録音／ワイド録音を設定する](#)
- 録音フィルター：
[ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)
- VOR：
[音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)
- 自動トラックマーク：
[トラックマークを自動で付ける](#)

再生設定

- クリアボイス：
[再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする－クリアボイス機能](#)
- イージーサーチ：
[すばやく指定の場所を検索する（イージーサーチ）](#)
- 再生モード：
[再生モードを変える](#)
- 再生範囲設定：
[再生範囲を指定する](#)

共通設定

- ランプ：
[本体の動作表示ランプの点灯、消灯を設定する（ランプ）](#)
- 画面オフタイマー：
[画面が自動的に消えるまでの時間を設定する（画面オフタイマー）](#)

- 操作音 :
[操作音の設定をする \(操作音\)](#)
- 時計設定 :
[日付や時刻を合わせる \(日付時刻設定\)](#)
[時刻表示の形式を選ぶ \(時刻表示形式\)](#)
- スリープタイマー :
[スリープタイマーを使う \(スリープタイマー\)](#)
- オートパワーオフ :
[本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する \(オートパワーオフ\)](#)
- 各種初期化 :
[メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す \(設定初期化\)](#)
[メモリーを初期化する \(メモリー初期化\)](#)
- 録音可能時間 :
[録音可能時間を確認する \(録音可能時間\)](#)
- 本体情報 :
[ICレコーダーの本体情報を確認する \(本体情報\)](#)


関連項目

- [ホームメニューの使いかた](#)

録音モードを選ぶ（録音モード）

録音するファイルの録音モード（音質など）を設定します。録音を始める前に設定してください。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「録音モード」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して好みの録音モードを選び、▶ ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

LPCM 44.1kHz/16bit :

非圧縮ステレオ高音質録音

MP3 192kbps :

ステレオ標準録音（お買い上げ時の設定）

MP3 128kbps :

ステレオ長時間録音

MP3 48kbps(MONO) :

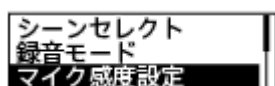
モノラル標準録音

マイク感度を設定する（マイク感度設定）

内蔵マイクのマイク感度を設定します。マイク感度を下げると周囲の音や遠くで聞こえる音が小さくなるため、ノイズが少なく録音されます。録音を始める前に設定してください。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「マイク感度設定」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して好みのマイク感度を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オート：

録音レベルが適切になるように、マイク感度は自動的に設定されます（お買い上げ時の設定）。

高：

広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。

中：

会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。

低：

口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）

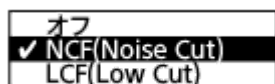
録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「録音設定」 - 「録音フィルター」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼ボタンを押して「NCF(Noise Cut)」または「LCF(Low Cut)」を選び、▶ ボタンを押す。



- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

録音フィルターを解除します。

NCF(Noise Cut)：

低い周波数の音に加えて、音声以外の高い周波数の音をカットします（お買い上げ時の設定）。

LCF(Low Cut)：

プロジェクターなどのノイズや風きり音といった低い周波数の音をカットします。

ヒント

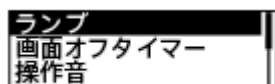
- 録音フィルター機能を止めるには、手順2で「オフ」を選びます。

本体の動作表示ランプの点灯、消灯を設定する（ランプ）

ICレコーダーを操作中の、本体の動作表示ランプとBluetoothランプの点灯・消灯を設定します。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「ランプ」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：

動作中は本体の動作表示ランプとBluetoothランプが点灯または点滅します（お買い上げ時の設定）。

オフ：

動作中も本体の動作表示ランプとBluetoothランプは点灯／点滅しません。

日付や時刻を合わせる（日付時刻設定）

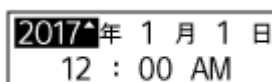
日付や時刻を合わせることができます。録音を始める前に設定してください。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「時計設定」 - 「日付時刻設定」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 年月日と時分を合わせる。



▲または▼ ボタンを押して、年の数字（西暦）を選び、▶ ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀または▶▶ ボタンを押して、次の項目に進んだり、前の項目に戻ったりすることができます。

また、BACK/HOMEボタンを押して、1つ前の項目に戻ることもできます。

「分」の数字を選び、▶ ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

本体をホールドにすると現在時刻が表示されます。

関連項目

- [本体の誤操作を防止する（ホールド）](#)

時刻表示の形式を選ぶ（時刻表示形式）

12時間表示と24時間表示のいずれかを選ぶことができます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「時計設定」 - 「時刻表示形式」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押してお好みの設定を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

12時間：

12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午（お買い上げ時の設定）

24時間：

00：00＝真夜中、12：00＝正午

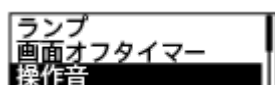
操作音の設定をする（操作音）

操作確認音のオン／オフを設定します。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

ご注意

- 操作音は、本体にヘッドホンを接続して使用するときのみ聞こえます。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「操作音」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

- STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オン：
操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります（お買い上げ時の設定）。

オフ：
操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。


関連項目

- [録音中の音をモニターする](#)

スリープタイマーを使う（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると自動的に本体の電源が切れます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「スリープタイマー」を選び、
▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して好みの時間を選び、▶ ボタンを押す。
「オフ」（お買い上げ時の設定）、「15分」、「30分」、「60分」、「90分」、「120分」から選びます。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。
スリープタイマーを設定すると、ファイルの再生／録音画面に「SLEEP」と表示されます。

ご注意

- オートパワーオフ機能が設定されているときは、スリープタイマーの設定時間の前に電源が切れることがあります。
- 録音中や録音開始タイマーを設定中でも、スリープタイマーの設定時間が経過すると電源が切れます。

ヒント

- スリープタイマーの残り時間を確認するには、もう一度手順1を行ってください。スリープに入るまでの残り時間が表示されます。そのままスリープタイマーを継続するには「継続」を選んでください。解除する場合は、「停止」を選んでください。


関連項目

- [本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)
- [録音開始タイマーを使う](#)

本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）

ICレコーダーが何も操作されないまま設定した時間が経過すると、自動的に本体の電源が切れます。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「オートパワーオフ」を選び、
▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して好みの設定を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

選択できるメニュー項目は以下のとおりです。

オフ：

電源は自動的に切れません。

5分：

約5分後に電源が切れます。

10分：

約10分後に電源が切れます。

30分：

約30分後に電源が切れます（お買い上げ時の設定）。

60分：

約60分後に電源が切れます。

ご注意

- リモコンで本体を操作できない場合は、本体の電源が入っているか、また、本体とリモコンがホールド状態でないことを確認してください。

ヒント

- Bluetooth接続中でも、オートパワーオフ機能は有効です。本体の電源が切れると、Bluetooth接続が切断されます。必要に応じて、設定時間を変更してください。

関連項目


- [本体の電源を入れる](#)
- [本体のホールドを解除する](#)
- [リモコンを操作する](#)

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定初期化）

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

ただし、時計設定については初期化されません。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 録音停止中または再生停止中にリモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「各種初期化」 - 「設定初期化」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「設定を初期値に戻しますか？」と表示されます。

- 2 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「はい」を選び、▶ ボタンを押す。

「お待ちください」と表示され、設定が初期化されます。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。


■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ヒント

- 途中でやめるには、手順2で「いいえ」を選びます。

メモリーを初期化する（メモリー初期化）

内蔵メモリーを初期化します。メモリー内のすべてのデータを削除し、フォルダ構成を初期状態に戻します。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 録音停止中または再生停止中にリモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「各種初期化」 - 「メモリー初期化」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「全てのデータを削除しますか？」と表示されます。

- 2 ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して「はい」を選び、▶ ボタンを押す。
「お待ちください」と表示され、メモリーが初期化されます。

- 3 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。
■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意

- 内蔵メモリーの初期化をすると、保存されていたすべてのデータが削除されます。（保護したファイルやSound Organizer 2も削除されます。）一度削除した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

ヒント

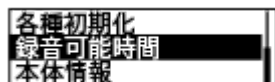
- Sound Organizer 2は、ICレコーダー サポート・お問い合わせページからダウンロードできます。詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」（別冊）をご覧ください。
- 途中で初期化をやめるには、手順2で「いいえ」を選びます。

ICレコーダー
ICD-TX800

録音可能時間を確認する（録音可能時間）

録音可能な残り時間を時間、分、秒で表示します。
以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「録音可能時間」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

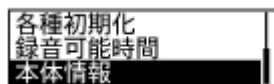
ICレコーダー
ICD-TX800

ICレコーダーの本体情報を確認する（本体情報）

ICレコーダーの型名とソフトウェアのバージョンを表示します。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、ホームメニュー - 「 各種設定」 - 「共通設定」 - 「本体情報」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



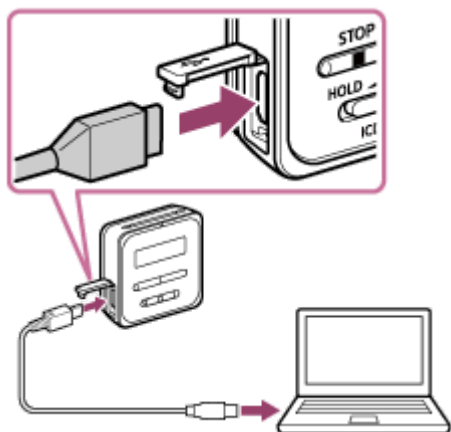
- 2 BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ STOPボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ICレコーダーをパソコンに接続する

ICレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、本体をパソコンに接続します。

- 1 本体側面のUSB蓋を開け、付属のUSBケーブルで本体のUSB端子／ヘッドホン出力端子と起動しているパソコンのUSBポートを接続する。



- 2 正しく認識されているかを確認する。

- Windowsでは、「コンピューター」または「PC」を開き、「IC RECORDER」が新しく認識されているかを確認してください。
- Macでは、Finderに「IC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側でICレコーダーを認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。
接続している間は本体の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

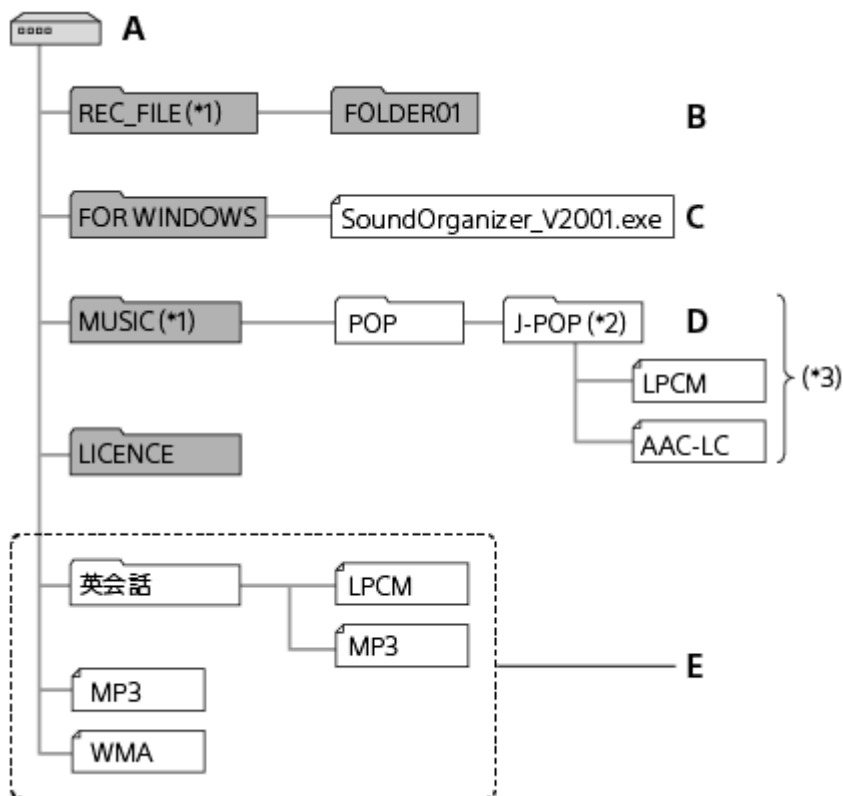
関連項目

- [本体をパソコンから取り外す](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

フォルダとファイルの構成

ICレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「IC RECORDER」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。



A: IC RECORDER

B: ICレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ

C: Sound Organizer 2格納フォルダ

D: パソコンから転送したフォルダ

E: この位置に保存したファイルまたはフォルダは、ICレコーダーでは認識できません。

*1 REC_FILEフォルダの中のファイルが、「 録音したファイル」に表示されるファイルです。

MUSICフォルダの中のファイルが、「 ミュージック」に表示されるファイルです。

ファイルを転送するときは、REC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内に入れてください。

*2 音楽ファイルが保存されたフォルダ名はICレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくとう便利です。（図は、フォルダ名称の例です。）

*3 音楽ファイルを認識できるのは、ICレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。

ヒント

- パソコンにある音楽ファイルをICレコーダーに転送するときは、あらかじめタイトルやアーティストなどの情報を登録しておくとう便利です。
情報を登録すると、ICレコーダーで音楽ファイルの情報を表示したり、登録した情報から音楽ファイルを検索したりすることができます。
- タイトル名が登録されていない場合は、ICレコーダーではファイル名が表示されます。

ICレコーダー
ICD-TX800

ファイルをICレコーダーからパソコンにコピーして保存する

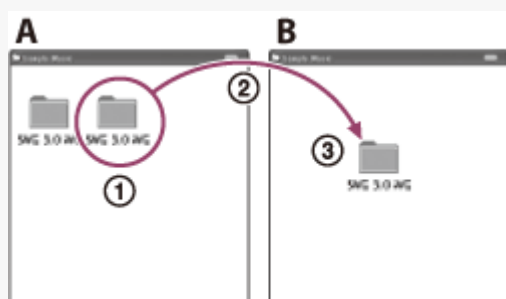
ICレコーダーにあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。



- 1 本体をパソコンに接続する。
- 2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。
「IC RECORDER」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。
- 3 本体をパソコンから取り外す。

ヒント

- ファイルやフォルダをコピー（ドラッグアンドドロップ）するには、コピーしたいフォルダをクリックしたまま（①）、保存先まで移動（ドラッグ）して（②）、離します（ドロップ）（③）。



A: ICレコーダー
B: パソコン

関連項目

- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [本体をパソコンから取り外す](#)

パソコンにある音楽ファイルをICレコーダーにドラッグアンドドロップしてコピーする

パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)) をICレコーダーにコピーして再生することができます。



1 本体をパソコンに接続する。

2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダをICレコーダーにコピーする。

WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダをREC_FILEフォルダ内またはMUSICフォルダ内にドラッグアンドドロップします。

1個のフォルダには最大199のファイルを入れることができます。内蔵メモリー内のフォルダとファイルを合計して、最大5,000件まで認識できます。

3 本体をパソコンから取り外す。

関連項目



- [ICレコーダーの仕様](#)
- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [本体をパソコンから取り外す](#)

パソコンからコピーした音楽ファイルをICレコーダーで再生する

パソコンからコピーした音楽ファイルをICレコーダーで再生します。

以下の手順に従って、リモコンで操作してください。

- 1 リモコンを操作して、「 録音したファイル」または「 ミュージック」からファイルを検索して選ぶ。

パソコンからREC_FILEフォルダ内にコピーしたファイルは「 録音したファイル」、MUSICフォルダ内にコピーしたファイルは「 ミュージック」から検索できます。

ファイルの検索方法については、「[ファイルを選ぶ](#)」をご覧ください。

- 2 ▶ ボタンを押して再生を始める。

- 3 ■ STOPボタンを押して再生を止める。

ご注意

- 再生音は、本体にヘッドホンを接続して使用するときのみ聞こえます。

関連項目

- [再生時](#)
- [ICレコーダーの仕様](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

USBメモリーとして利用する

ICレコーダーとパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にあるICレコーダーで録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルをICレコーダーに一時保存できます。

USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。

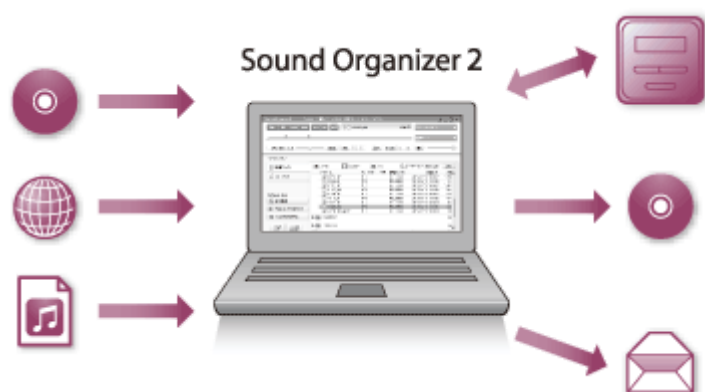
OSの条件については「[必要なシステム構成](#)」をご覧ください。

Sound Organizer 2でできること（Windowsのみ）

本体メモリーのファイル（[SoundOrganizer_V2001.exe]）からインストールします。

Sound Organizer 2では、ICレコーダーとファイルのやりとりができます。また、音楽CDなどから取り込んだ楽曲、パソコンから取り込んだMP3などの音声ファイルを再生したり、ICレコーダーに転送したりできます。取り込んだファイルは、再生、編集、MP3ファイルなどへの変換など、さまざまな操作ができます。また、お好みの音楽CDを作成したり、音声ファイルをメールで送信することができます。

使用方法の詳細はSound Organizer 2のヘルプをご覧ください。



ICレコーダーで録音したファイルを取り込む

ICレコーダーで録音したファイルをSound Organizer 2に取り込みます。取り込んだファイルはパソコンに保存されます。

音楽CDから楽曲を取り込む

音楽CDの楽曲をSound Organizer 2に取り込みます。取り込んだ楽曲はパソコンに保存されます。

パソコン上のファイルを取り込む

パソコン上に保存されている音楽などのファイルをSound Organizer 2に取り込みます。

ファイルを再生する

Sound Organizer 2に取り込んだファイルを再生します。

ファイルの曲情報を変更する

ファイル一覧に表示されるタイトル名、アーティスト名などの曲情報を変更します。

ファイルを分割する

1つのファイルを複数のファイルに分割します。

ファイルを結合する

複数のファイルを1つのファイルに結合します。

ICレコーダーからファイルを削除する

ICレコーダーに保存されているファイルを削除できます。

ICレコーダーの空き容量を増やしたい場合や、不要なファイルがある場合などは、この操作でICレコーダー内のファイルを削除してください。

ICレコーダーに転送する

Sound Organizer 2からICレコーダーにファイルを転送します。
転送された音楽などをICレコーダーで楽しむことができます。

音楽CDを作成する

Sound Organizer 2に取り込んだ楽曲からお好みの楽曲を選んで、自分だけのオリジナル音楽CDを作成します。

その他の便利な使いかた

メールソフトウェアを起動して、録音したファイルを添付してメールで送信できます。

関連項目

- [Sound Organizer 2をインストールする（Windowsのみ）](#)

Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成

Sound Organizer 2を使用するためには、以下の環境が必要です。

OS

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7 (Service Pack 1 以降)

標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU
Windows 7/Windows 8.1/Windows 10 : 1.66 GHz以上のプロセッサー
- メモリー
Windows 7/Windows 8.1/Windows 10 : 1 GB以上（32ビット版）／2 GB以上（64ビット版）
- ハードディスクの空き容量
400 MB以上
Windowsのバージョンによってはそれ以上使用場合があります。
また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
画面の解像度 : 800×600ピクセル以上（1,024×768ピクセル推奨）
画面の色 : High Color（16ビット）以上
- USBポート
機器・メディアをお使いになるには、使用可能なUSBポートが必要です。
USBハブにて拡張されたUSBポートは特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。
- ディスクドライブ
音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

Sound Organizer 2をインストールする（Windowsのみ）

Sound Organizer 2をパソコンのハードディスクなどにインストールします。



ご注意

- Sound Organizer（ver.1.6）をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてください。
- Sound Organizer 2をインストールするときは、Administrator（管理者）権限でログオンしてください。
また、Windows 7/Windows 8.1をお使いで「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、
「はい」をクリックしてください。
- Sound Organizer 2のインストールによってWindows Media Format Runtimeのモジュールが追加されます。
Sound Organizer 2をアンインストールした場合でも、このモジュールは削除されません。
ただし、Windows Media Format Runtimeがプリインストールされている場合にはインストールされないことがあります。
- Sound Organizer 2をアンインストールした場合にも、コンテンツ格納先フォルダ内のデータは消えません。
- 1台のパソコンに複数のオペレーティングシステムをインストールした環境では、それぞれのオペレーティングシステムに
Sound Organizer 2をインストールしないでください。
データの不整合が生じる場合があります。

1 ICレコーダーをパソコンに接続する。

2 パソコンからエクスプローラーを起動する。

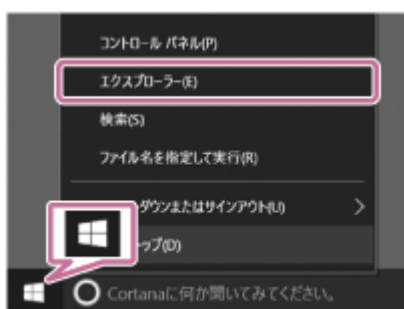
Windows 7の場合

デスクトップ左下の「（スタート）」から、「すべてのプログラム」－「 アクセサリ」－「エクスプローラー」をクリックする。



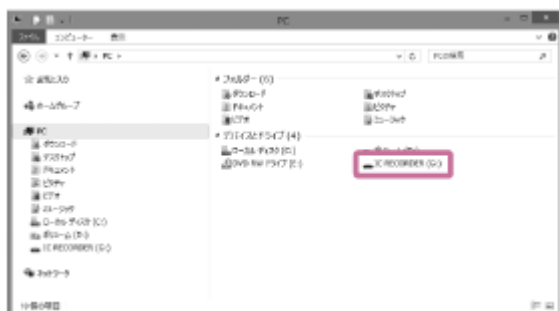
Windows 8.1/Windows 10の場合

デスクトップ画面の左下隅を右クリックして、表示されたメニューの「エクスプローラー」をクリックする。



画面はお使いのWindowsのバージョンによって異なります。

- 3 [IC RECORDER] - [FOR WINDOWS] をダブルクリックする。



- 4 [SoundOrganizer_V2001]（または [SoundOrganizer_V2001.exe]）をダブルクリックする。



お使いのWindowsのバージョンによっては、途中の画面が表示されずに、セットアップの準備（解凍）が自動的に始まる場合があります。
画面の指示に従って操作してください。

- 5 「Sound Organizer 2インストーラーへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする。

- 6 使用許諾契約の内容を確認したら、「使用許諾契約に同意します」を選び、「次へ」をクリックする。

- 7 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで「標準」、「カスタム」のいずれかを選び、「次へ」をクリックする。

「カスタム」を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。

- 8 「インストールの開始」の画面が表示されたら、「インストール」をクリックする。

インストールが始まります。

- 9 「Sound Organizer 2は正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizer 2を今すぐ起動する」にチェックが入っていることを確認し、「終了」をクリックする。

ご注意

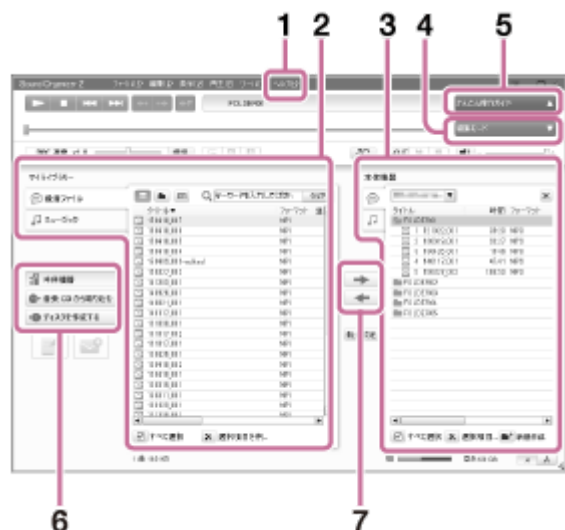
- Sound Organizer 2のインストール後、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

関連項目

- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

Sound Organizer 2の基本操作（Windowsのみ）



1. ヘルプ

Sound Organizer 2のヘルプを表示します。
各操作の詳細はヘルプを参照してください。

2. Sound Organizer 2ファイル一覧（マイライブラリー）

Sound Organizer 2のマイライブラリーに含まれるファイルの一覧を、操作に合わせて表示します。

録音ファイル：録音ファイルの一覧を表示します。

ICレコーダーで録音したファイルを取り込むと、このライブラリーに表示されます。

ミュージック：音楽ファイルの一覧を表示します。

音楽CDから楽曲を取り込むと、このライブラリーに表示されます。

3. ICレコーダーファイル一覧

パソコンに接続しているICレコーダーに保存されているファイルが表示されます。

4. 編集モードボタン

編集エリアを表示して、ファイルを編集できます。

5. かんたん操作ガイドボタン

Sound Organizer 2の基本的な機能をガイドする、「かんたん操作ガイド」を表示します。

6. サイドバー（取り込み・転送）

本体機器：転送画面を表示します。接続機器内のファイル一覧が表示されます。

音楽CDから取り込む：音楽CDの取り込み画面を表示します。

ディスクを作成する：ディスク作成画面を表示します。

7. ファイル転送ボタン

: Sound Organizer 2のファイルをICレコーダーに転送します。

: ICレコーダーのファイルをSound Organizer 2のマイライブラリーに取り込みます。

ICレコーダー
ICD-TX800

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。
Sound Organizer 2をお使いの場合は、「[Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成](#)」をご覧ください。

OS

- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows 7 (Service Pack 1 以降)
- macOS (v10.9 ~ v10.13)

標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、「[サポートホームページで調べる](#)」をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

ご注意

- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

ICレコーダーの仕様

本体の仕様

容量（ユーザー使用可能領域）（*1） （*2）	16 GB（約12.80 GB = 13,743,895,347 Byte）
最大録音ファイル数（1フォルダ内）	199ファイル
最大ファイル数	5,000ファイル（フォルダ数を含む）
周波数範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● LPCM 44.1kHz/16bit : 95 Hz～20,000 Hz ● MP3 192kbps : 95 Hz～20,000 Hz ● MP3 128kbps : 95 Hz～16,000 Hz ● MP3 48kbps(MONO) : 95 Hz～14,000 Hz
対応ファイルフォーマット	MP3（*3）（*4） <ul style="list-style-type: none"> ● ビットレート : 32 kbps～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプリング周波数 : 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz ● 拡張子 : .mp3
	WMA（*3）（*5） <ul style="list-style-type: none"> ● ビットレート : 32 kbps～192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプリング周波数 : 44.1 kHz ● 拡張子 : .wma
	AAC-LC（*3）（*6） <ul style="list-style-type: none"> ● ビットレート : 16 kbps～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 ● サンプリング周波数 : 11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz ● 拡張子 : .m4a
	LPCM（*3） <ul style="list-style-type: none"> ● 量子化ビット数 : 16 ビット ● サンプリング周波数 : 44.1kHz

	<ul style="list-style-type: none"> ● 拡張子：.wav
Bluetooth仕様	<p>通信方式：Bluetooth標準規格 Ver 4.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用周波数帯域：2.4 GHz帯（2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz） ● 変調方式：FHSS ● 対応Bluetoothプロファイル（＊7）：SPP
入・出力端子	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドホン（USB micro-B端子） 推奨負荷インピーダンス：16Ω ● USB端子（USB micro-B端子）High-Speed USB対応
再生スピード調節（DPC）	3.00倍速～ 0.25倍速：MP3/WMA/AAC-LC/LPCM
電源	DC 3.7 V、内蔵リチウムイオン充電式電池
動作温度	5℃～ 35℃
最大外形寸法（最大突起部含まず）	約38.0 mm×38.0 mm×13.7 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約22 g
付属品	「 箱の中身を確認する 」参照
別売アクセサリ	<ul style="list-style-type: none"> ● USB ACアダプター：AC-UD20 ● USB ポータブル電源 最新の対応機器はhttp://www.sony.jp/battery/search/をご覧ください。

*1 メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

*2 ICレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合

*3 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

*4 これらに加えてICレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。

*5 WMA Ver.9には準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。

*6 著作権保護されたファイルは再生できません。

*7 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

リモコンの仕様

Bluetooth仕様	<p>通信方式：Bluetooth標準規格 Ver 4.0</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用周波数帯域：2.4 GHz帯（2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz） ● 対応Bluetoothプロファイル（＊1）：BLE(HOGP)
電源	DC 3 V、CR2032 ボタン型リチウム電池（＊2）
電池持続時間	約1年（＊3）
動作温度	5℃～ 35℃
最大外形寸法（最大突起部含まず）	約38.0 mm×38.0 mm×10.8 mm （幅／高さ／奥行き）

質量	約15 g（ボタン型リチウム電池含む）
----	---------------------


- * 1 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
- * 2 お買い求め時にあらかじめ取り付けられている電池はモニター用電池のため、電池持続時間を満たさない場合があります。
- * 3 使用状況や周囲温度などの要因によっても変わります。あくまでも目安としてください。

ICレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間

録音モード、録音シーンの設定別で、最大録音時間（＊1）（＊2）を記載しています。
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

内蔵メモリー

録音モード（録音シーン）（＊3）	最大録音時間
LPCM 44.1kHz/16bit	21時間35分
MP3 192kbps ( /  /  / )	159時間
MP3 128kbps ( （＊4） /  （＊5）)	238時間
MP3 48kbps(MONO)	636時間

＊1 連続録音の場合は、別売のUSB ACアダプターが必要になります。

詳しくは「[電池の持続時間](#)」をご確認ください。

＊2 表記の最大録音時間は目安です。

＊3 録音シーンはお買い上げ時の設定です。

＊4 録音画面では、が表示されます。

＊5 録音画面では、が表示されます。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数

ビットレート別で音楽ファイルの最大再生時間／ファイル数（＊）を記載しています。

ビットレート	再生時間	曲数
128 kbps	238時間	3570ファイル
256 kbps	119時間	1785ファイル

＊ パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

ファイルのデータ形式別で、内蔵充電式電池の持続時間（＊）を記載しています。

本体の内蔵充電式電池の持続時間

録音モード	録音時	ヘッドホン再生時	REC Remote 録音時
LPCM 44.1kHz/16bit	約12時間	約10時間	約6時間
MP3 192kbps	約15時間	約12時間	約6時間
MP3 128kbps	約15時間	約12時間	約6時間
MP3 48kbps(MONO)	約15時間	約12時間	約6時間
音楽ファイル (MP3 128kbps)	—	約12時間	—

＊ 当社規定による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

本体の充電時間

電池残量がない状態からフル充電までは約1時間かかります。

リモコンの電池持続時間（＊）

約1年

＊ 使用状況や周囲温度などの要因によっても変わります。あくまでも目安としてください。

使用上のご注意

無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

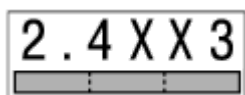
本体

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の変調方式を採用し、与干渉距離は30 mです。



リモコン

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてその他の変調方式を採用し、与干渉距離は30 mです。



Bluetooth接続のご注意

- Bluetooth無線技術では約10mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - － ICレコーダーとBluetooth機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10m以上離れたところで行う。
 - － ICレコーダーとBluetooth機器をできるだけ近づける。
 - － 無線LANを搭載した機器から10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではICレコーダーとBluetooth機器の電源を切ってください。

- － 病院内/電車内の優先席付近/航空機内/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く

使用場所について

- 運転中の使用は危険ですのでおやめください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。ICレコーダーの故障の原因となります。
- ICレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - － ICレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
 - － ICレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
 - － 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
 - － 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - － 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
 - － 風呂場など湿気の多いところ。
 - － ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ICレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - － 洗面所などでICレコーダーをポケットに入れての使用。
身体をかがめたときなどに、落として水ぬれの原因になる場合があります。
 - － 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
 - － 汗をかく状況での使用。
ぬれた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにICレコーダーを入れると、水ぬれの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ご使用について

- ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口にご相談してください。
- ヘッドホンを付けたまま寝ないでください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本体を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本体に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。
シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンなどに保存してください。

ICレコーダーを廃棄するときのご注意

廃棄するときは、内蔵メモリーの初期化を行い、すべてのデータを削除してください。



Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。
この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

電池の取り扱いについて

電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しないで下さい。
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。
電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池：

- ニカド（Ni-Cd）
- ニッケル水素（Ni-MH）
- リチウムイオン（Li-ion）

乾電池：

- アルカリ
- マンガン

⚠危険 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。

- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

警告 乾電池、ボタン型リチウム電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

注意 乾電池、ボタン型リチウム電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

関連項目

- [メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)
- [電話・FAXで問い合わせる](#)

保証書とアフターサービス

修理や交換などのアフターサービスを受けるには、保証書が必要です。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
このヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合が悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
当社では、ICレコーダーの補修・性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizer 2は、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Google Play及びAndroidはGoogle LLCの商標です。
- Apple、Appleロゴ、iPhone、macOS、iOSおよびMacは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
App StoreはApple Inc.のサービスマークです。



- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。



- iPhone対応モデル
iPhone 7、iPhone 7 Plus、iPhone SE、iPhone 6s、iPhone 6s Plus、iPhone 6、iPhone 6 Plus、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5
- BLUETOOTH®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。



その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ライセンスについて

- 本機は、Fraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術特許に基づく許諾製品です。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンス内容(英文)に関しては、ICレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。ICレコーダーとパソコンをマストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様はGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。
<http://www.sony.net/Products/Linux/>
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。ライセンス内容(英文)に関しては、ICレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。ICレコーダーとパソコンをマストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

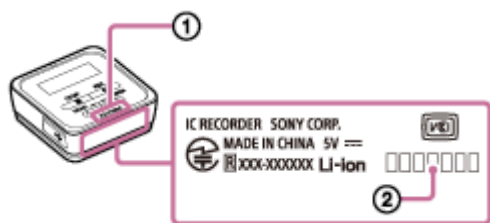
ICレコーダー
ICD-TX800

電話・FAXで問い合わせる

ICレコーダーの使いかたやトラブルについて、電話やFAXで問い合わせることができます。
本機の商品カテゴリーは「ICレコーダー」です。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- ICレコーダー本体に関するご質問時：
 型名（①）：ICD-TX800
 シリアルナンバー（②）：本体側面に記載
 ご相談内容：できるだけ詳しく
 お買い上げ年月日



- ソフトウェアに関するご質問時：
 質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020
 上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9577
 上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330
 上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9599
 上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- FAX：0120-333-389

関連項目

- [保証書とアフターサービス](#)
- [サポートホームページで調べる](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

サポートホームページで調べる

ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで、トラブルの解決方法を豊富な事例から調べることができます。

ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページへ:

<https://www.sony.jp/support/ic-recorder/>

ICレコーダーに関する最新サポート情報や、その他よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

関連項目

- [電話・FAXで問い合わせる](#)

困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

- 「よくある質問」の各項目で調べる。
- 本体を充電する。
充電すると問題が解決することがあります。
- 本体をリスタート（再起動）する。
- リモコンをリセットする。
- リモコンの電池を交換する。
- Sound Organizer 2のヘルプで調べる。
Sound Organizer 2についての操作方法は、Sound Organizer 2のヘルプで調べることができます。

それでも解決しない場合、ご不明な点は、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページをご覧ください。
か、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

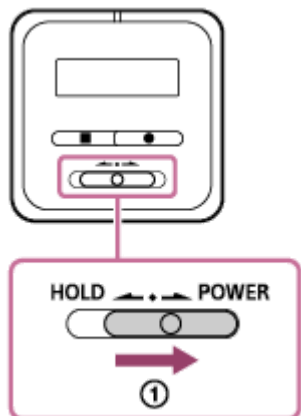
なお、保証書とアフターサービスについては、「[保証書とアフターサービス](#)」をご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

関連項目

- [パソコンを使って本体を充電する](#)
- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)
- [リモコンをリセットする](#)
- [リモコンの電池を交換する](#)
- [サポートホームページで調べる](#)
- [電話・FAXで問い合わせる](#)
- [Sound Organizer 2の基本操作（Windowsのみ）](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

本体のリスタートについて



「よくある質問」内のトピックをチェックしてみても解決しない場合、リスタートすると、問題が解決することがあります。HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせたままの状態でも8秒間維持します（①）。画面が消えたら、リスタートが行われるので、HOLD・POWERスイッチから指を離してください。動作中にリスタートすると、ICレコーダーに保存しているデータや設定が削除される場合がありますので、動作中でないことを確認してから操作してください。

ICレコーダー
ICD-TX800

ノイズが多く聞き取りにくい。

- 音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。
再生時に、クリアボイス機能を「クリアボイス1」または「クリアボイス2」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします。
全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。
ただし、「🎵ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

関連項目

- [再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする - クリアボイス機能](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

録音にノイズが多いため、ノイズを少なく録音したい。

- 録音フィルター機能の「NCF（Noise Cut）」または、「LCF（Low Cut）」を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます。
また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。

関連項目

- [ノイズを軽減して録音する（録音フィルター）](#)
- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

カサカサという音が録音されている。

- 録音したとき、本体に手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。

ICレコーダー
ICD-TX800

ジリジリという音が録音されている。

- 録音中や再生中に本体を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。本体を離して録音してください。

ICレコーダー
ICD-TX800

ヘッドホンで聞くと雑音が入る。

- ヘッドホンのプラグが汚れています。
プラグをきれいにクリーニングしてください。

ICレコーダー
ICD-TX800

クリアボイス機能を設定しているのにノイズが入る。

- 「🎵ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

ICレコーダー
ICD-TX800

本体の電源が入らない、または本体の操作ボタンを押しても動作しない。

- 本体の内蔵充電式電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください。
- 本体の電源がオフになっています。
画面が表示されるまで、HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせると、電源が入ります。
- 本体のホールドがオンになっています。
HOLD・POWERスイッチを中央位置にスライドさせてください。

関連項目

- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)
- [本体の電源を入れる](#)
- [各部のなまえ](#)
- [本体のホールドを解除する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

本体の電源が切れない。

- 「電源オフ」と表示されるまで、HOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

関連項目

- [本体の電源を切る](#)
- [各部のなまえ](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

本体の電源が自動的に切れる。

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時の設定は30分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます。
- スリープタイマーで設定された時間が経過すると自動的に電源が切れます。（お買い上げ時は、設定は「オフ」になっています。）

関連項目

- [スリープタイマーを使う（スリープタイマー）](#)
- [本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)

本体の電池の持続時間が短い。

- このヘルプガイドに記載の電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、本体の電源を切ることをおすすめします。また、オートパワーオフ設定時間を短くしておくと、切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
- 本体をREC Remoteに接続しない場合は、「Bluetoothオン/オフ」を「オフ」にしてください。
- 本体の充電を開始すると、短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量がない状態からフル充電までは約1時間かかります。
- 本体を長い間使用していなかった場合は、何回か充電、放電（本体を動作させる）を繰り返してください。
- 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。
- 内蔵充電式電池が劣化しています。
充電式電池は、お使いの環境にもよりますが約500回の充電が可能です。十分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の半分ほどになった場合は、電池が劣化しています。ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

関連項目

- [本体の電源を切る](#)
- [本体の電源が自動的に切れるまでの時間を設定する（オートパワーオフ）](#)
- [電池の持続時間](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

パソコンで本体を充電できない。

- 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態（スタンバイ、スリープ）のときは充電できません。
- パソコンから本体を外し、再度接続してください。
- ICレコーダーが対応しているシステム構成をご確認ください。
- 周囲温度が5℃～35℃の環境で充電してください。
- 市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSBケーブルを使用して本体を直接接続してください。

関連項目

- [パソコンを使って本体を充電する](#)
- [必要なシステム構成](#)


ICレコーダー
ICD-TX800

充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。

- 本体のUSB端子／ヘッドホン出力端子と付属のUSBケーブルが正しく接続されていません。

ICレコーダー
ICD-TX800

電池残量、充電表示部で充電温度異常のアイコンが点滅表示している。

- 充電表示部に  が点滅する場合は、本体の充電可能な温度範囲外になっています。周囲温度が動作温度（5℃～ 35℃）になるようにしてください。

リモコンの電源が入らない、またはリモコンの操作ボタンを押しても動作しない。

- 以下をお試しください。
 - － リモコンのHOLDを解除する
 - － リモコンのRESETボタンを押す
 - － リモコンの電池の+の向きが正しいか確認する
 - － リモコンの電池を交換する
 - － 本体の電源が入っていることを確認する
 - － 本体をリスタート（再起動）する
 - － 本体にリモコンを登録する
- 2.4GHz帯の周波数を使用する無線、無線LAN、他のBluetooth機器または電子レンジなど、電磁波を発生する機器は無線接続に障害を起こす場合があります。
本体及びリモコンの間から障害物を避ける、または取り除いてください。
- 本体とリモコンの距離が離れすぎています。本体とリモコンの距離が遠いと、無線接続ができなかったり途切れたりすることがあります。本体とリモコンを近づけてご使用ください。
- リモコンの動作表示ランプが点滅しているときは、本体とリモコンの接続処理中または登録処理中のため、リモコンのボタン操作ができません。
点滅が消えてから操作をしてください。

関連項目

- [リモコンを操作する](#)
- [リモコンの動作表示ランプを確認する](#)
- [リモコンをリセットする](#)
- [リモコンの電池を交換する](#)
- [本体にリモコンを登録する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

リモコンの動作表示ランプが点滅してリモコンの操作ボタンを押しても動作しない。

- リモコンの動作表示ランプは、リモコンの状態により点滅もしくは点灯します。詳しくは、「[リモコンの動作表示ランプを確認する](#)」をご覧ください。

ICレコーダー
ICD-TX800

リモコンの電池の持続時間が短い。

- このヘルプガイドに記載の電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
- 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。

関連項目

- [電池の持続時間](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

正常に動作しない。

- パソコンで初期化（フォーマット）しています。
ICレコーダーで初期化を行ってください。
-

関連項目

- [メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

動作表示ランプが点灯しない。

- メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。
「オン」に切り換えてください。

関連項目

- [本体の動作表示ランプの点灯、消灯を設定する（ランプ）](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

録音できない。

- 録音残り時間が不足している場合は録音できません。

関連項目

- [録音可能時間を確認する（録音可能時間）](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-TX800

録音が途中で止まる。

- VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください。

関連項目

- [音がしたとき自動録音する－VOR（Voice Operated Recording）録音](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-TX800

再生音量が小さい。

- 録音されている音量が小さい場合があります。録音時に、マイク感度の設定や、「シーンセレクト」で用途に合わせた録音シーンを選んでいるかを確認してください。

関連項目

- [マイク感度を設定する（マイク感度設定）](#)
- [用途に合わせた録音シーンを選ぶ](#)
- [より良い音で録音するには](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

- DPC（速度調節）の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。
DPC（速度調節）の設定を「オフ」にすると、通常で再生されます。または、DPC（速度調節）の設定で再生スピードを調節してください。

関連項目

- [再生速度を調節する — DPC（Digital Pitch Control）](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

ファイルを分割できない。

- メモリーに一定の空き容量がありません。
 - システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
 - ICレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。
-

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

ファイルを移動できない。

- 「🎵ミュージック」内のファイルは、内蔵メモリー内の別フォルダに移動することができません。

関連項目

- [ファイルを保護する](#)

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-TX800

ファイルを別のフォルダへコピーできない。

- 「🎵ミュージック」内のファイルは、内蔵メモリー内の別フォルダにコピーすることができません。

ICレコーダー
ICD-TX800

トラックマークを認識しない。

- ICD-TX800以外で作成したトラックマークは本機で認識できないことがあります。Sound Organizer 2から本機にコピーすると、認識できるようになります。

ICレコーダー
ICD-TX800

作成したフォルダやファイルが見えない。

- パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、ICレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは、「[フォルダとファイルの構成](#)」をご覧ください。

ICレコーダー
ICD-TX800

録音日時表示が「----/--/--」または「--:--」になる。

- ICD-TX800以外の機種で録音したファイルは、録音日時の記録方法が異なるため、録音日時が表示されない場合があります。

ICレコーダー
ICD-TX800

ICレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。

- ICレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、パソコン上（Sound Organizer 2）での残量表示と異なる場合があります。

ICレコーダー
ICD-TX800

「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。

- メモリーがいっぱいになっています。
不要なファイルを削除するか、パソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

「ファイル一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。

- 内蔵メモリー内のフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、録音やファイルコピーはできません。不要なファイルを削除するか、パソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

関連項目

- [ファイルを削除する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。

- WindowsのエクスプローラーまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、ICレコーダーで対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、ICレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。

ICレコーダー
ICD-TX800

ファイルコピーに時間がかかる。

- ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。コピーが終わるまでお待ちください。

パソコンで認識しない。パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。

- パソコンからICレコーダーを外し、再度接続してください。
 - 市販のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSBケーブルを使用して本体を直接接続してください。
 - ICレコーダーが対応しているシステム構成以外では、動作保証はいたしかねます。
 - お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
-

関連項目

- [本体をパソコンから取り外す](#)
- [ICレコーダーをパソコンに接続する](#)
- [必要なシステム構成](#)
- [Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成](#)

ICレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。

- 表示できるファイルは8階層目までです。
- ICレコーダーで対応しているLPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。ICレコーダーの仕様をご確認ください。
- ICレコーダーに登録しているフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、それ以上のコンテンツは認識されないことがあります。不要なファイルやフォルダを削除するか、パソコンに保存してから削除してください。
- パソコン上でフォルダやファイルを作成した場合、作成した場所によっては、ICレコーダーで認識できない場合があります。詳しくは「[フォルダとファイルの構成](#)」をご覧ください。

関連項目

- [ICレコーダーの仕様](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

パソコンが起動しない。

- 本体をパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。
本体をパソコンから外して起動してください。

関連項目

- [本体をパソコンから取り外す](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

ICレコーダーを登録できない（ペアリングできない）。

- 本体とスマートフォンの距離が離れています。Bluetooth接続ができる距離（1 m以内）で登録（ペアリング）を行ってください。

Bluetooth接続ができない。

- 電源が入っていません。本体および接続するスマートフォンの電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- 電池残量が少なくなっています、または電池残量がほとんどありません。本体を起動中のパソコンかUSB ACアダプター（別売）で充電してください。
- ICレコーダーまたは接続するスマートフォンで、設定の初期化やメモリーの初期化などが行われたことにより、登録（ペアリング）情報が削除されました。再登録（ペアリング）し直してください。
- 本体とスマートフォンの距離が離れすぎています。本体とスマートフォンの距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかったり途切れたりすることがあります。本体とスマートフォンをなるべく離さないでご使用ください。

関連項目

- [パソコンを使って本体を充電する](#)
- [USB ACアダプターにつないで使う／充電する](#)
- [スマートフォンと本体をBluetooth接続する](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

インストールできない。

- ハードディスクの空き容量が少なくなっています。
容量を確認してください。
 - Sound Organizer 2が動作保証していないOSのパソコンにはインストールできません。
対応しているOSのパソコンにインストールしてください。
 - Windows 7、Windows 8.1またはWindows 10のGuestアカウントでログオンしています。
「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。
-

関連項目

- [Sound Organizer 2の使用に必要なパソコンのシステム構成](#)

ICレコーダーと接続できない。

- ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。
 - 外付けUSBハブをお使いの場合には、付属のUSBケーブルを使用して直接パソコンに接続してください。
 - 本体側の接続ケーブルを抜き差ししてください。
 - 他のUSBポートで接続してみてください。
 - パソコンがスリープモードや休止状態に移行しています。
スリープモードや休止状態に移行しないように設定してください。
 - 内蔵メモリーのデータをパソコンにすべてバックアップした後で、内蔵メモリーをICレコーダーで初期化してください。
-

関連項目

- [メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

パソコンからの再生音量が小さい、パソコンから音が出ない。

- サウンドボードが付いていません。
- パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていません。
- ミュートが解除されていません。
- パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。）
- WAVファイルの場合は、サウンドレコーダー（Windowsに搭載）で音量を上げて保存しなおすこともできます。

ICレコーダー
ICD-TX800

保存したファイルが再生、編集できない。

- 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、Sound Organizer 2のヘルプをご覧ください。

関連項目

- [Sound Organizer 2の基本操作（Windowsのみ）](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

カウンターやスライダーの動きがおかしい、雑音が入る。

- 分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。
いったんハードディスクに保存してから（＊）再度ICレコーダーに戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。
＊ ICレコーダーの形式に合ったファイル形式で保存してください。

関連項目

- [ICレコーダーの仕様](#)

ICレコーダー
ICD-TX800

ファイル数が多くなると動作が遅くなる。

- 録音時間の長さに関係なく、ICレコーダー内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。

4-699-323-02(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ICレコーダー
ICD-TX800

ファイルの保存・追加・削除中に画面が動かなくなる。

- 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは削除に時間がかかります。
コピーまたは削除が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。

ICレコーダー
ICD-TX800

Sound Organizer 2を起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。

- ICレコーダーと通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、ICレコーダー内のデータが壊れるおそれがあります。
- 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトが、同時に起動している可能性があります。

メッセージ表示一覧

ホールド中 HOLDスイッチを解除してください

本体が誤操作防止（ホールド）状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。HOLD・POWERスイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください。
（「[本体のホールドを解除する](#)」参照）

電池が残りわずかです

電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内削除などができません。内蔵充電式電池を充電してください。
（「[パソコンを使って本体を充電する](#)」参照）

充電してください

電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください。
（「[パソコンを使って本体を充電する](#)」参照）

メモリーが一杯です

録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを削除してからやり直してください。
（「[ファイルを削除する](#)」参照）

ファイルが一杯です

フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを削除してからやり直してください。
（「[ファイルを削除する](#)」参照）

登録が一杯です

フォルダ名が重複しているため、フォルダ名を変更できません。他のフォルダ名に変更してください。
（「[フォルダ名を変更する](#)」参照）

トラックマークが一杯です

すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを削除してください。
（「[トラックマークを削除する](#)」参照）

内蔵メモリーの初期化が必要です

- パソコンで内蔵メモリーを初期化したため、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで内蔵メモリーの初期化をしてください。パソコンで初期化しないでください。
（「[メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)」参照）
- 内蔵メモリーにREC_FILEフォルダがありません。内蔵メモリーを初期化すると、REC_FILEフォルダが自動で作成されます。
（「[メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)」参照）

処理を継続できません

- 本体のHOLD・POWERスイッチを「POWER」の方向へ8秒間スライドさせたままの状態にして、本体をリスタートしてください。それでも解決しない場合は、必要なデータをバックアップしてからメニューでICレコーダーを初期化してください。
（「[本体のリスタートについて](#)」参照）
（「[メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)」参照）
- 内蔵メモリーがファイルシステム異常になっています。

パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。ICレコーダーで初期化を行ってください。
（「[メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)」参照）

- 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口までご連絡ください。

ファイルがありません

選んだフォルダには1つもファイルがありません。ファイル移動などの操作ができません。

トラックマークがありません

トラックマークが設定されていないため、トラックマークの削除、全分割が実行できません。

これ以上フォルダを作成できません

- フォルダ数とファイル数の合計が最大になったため、新規のフォルダを作成できません。いくつかのフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
（「[ファイルを削除する](#)」参照）
（「[フォルダを削除する](#)」参照）
- フォルダ名の連番が、上限に達しています。不要なフォルダを削除してからやり直してください。
（「[フォルダを削除する](#)」参照）

フォルダを作成できませんでした

内蔵メモリーがファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。ICレコーダーで初期化を行ってください。
（「[メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)」参照）

フォルダを削除できませんでした

内蔵メモリーがファイルシステム異常になっています。パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。ICレコーダーで初期化を行ってください。
（「[メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)」参照）

ファイルが保護されています

選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。削除などができません。ICレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性を外すと、操作できるようになります。
（「[ファイルを保護する](#)」参照）

保護されたファイルを削除できませんでした

選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。ICレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性を外してからやり直してください。
（「[ファイルを保護する](#)」参照）

削除できないデータがありました

フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

非対応のデータです

- ICレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ICレコーダーが対応しているファイル形式（拡張子）は、LPCM(.wav) / MP3(.mp3) / WMA(.wma) / AAC-LC(.m4a)となります。
（「[ICレコーダーの仕様](#)」参照）
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 選んだファイルのデータが破損しているため、再生や編集ができません。

編集できないファイル形式です

- Sound Organizer 2以外のアプリケーションで編集したファイルは、分割できません。

- ICレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ICレコーダーが対応しているファイル形式（拡張子）は、LPCM(.wav) / MP3(.mp3) / WMA(.wma) / AAC-LC(.m4a)となります。
（「[ICレコーダーの仕様](#)」参照）

操作できません

- 内蔵メモリーがファイルシステム異常になっています。
パソコンで初期化（フォーマット）した可能性があります。ICレコーダーで初期化を行ってください。
（「[メモリーを初期化する（メモリー初期化）](#)」参照）
- 内蔵メモリーが後発不良（BADBLOCK）になった場合、データの書き込みができません。ICレコーダーの修理が必要です。
- メモリーが一杯のため、フォルダ名を変更できません。不要なフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
（「[フォルダを削除する](#)」参照）
（「[ファイルを削除する](#)」参照）
- フォルダ名またはファイル名の連番が、上限に達しています。不要なフォルダまたはファイルを削除してからやり直してください。
（「[フォルダを削除する](#)」参照）
（「[ファイルを削除する](#)」参照）
- ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。
- 分割実行位置の直前または直後にトラックマークが設定されているため、「分割」－「全てのトラックマーク位置」が実行できません。
- ファイルの先頭または終端から近い位置にトラックマークが設定されているため、「分割」－「全てのトラックマーク位置」が実行できません。
- ファイルの先頭や終端に近い位置では、分割できません。
- 同名のトラックマークファイルがあるため、ファイルの移動／コピー、または分割をすることができません。

新しいファイルで録音を継続します

録音中のファイルがファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。

ファイル数が上限を超えるため分割できません

フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを削除してからやり直してください。
（「[ファイルを削除する](#)」参照）

同名のファイルが存在します

作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。

故障です

何らかの原因でシステムエラーが発生しています。ソニーの相談窓口までご連絡ください。
（「[電話・FAXで問い合わせる](#)」参照）

再生中は操作できません

オプションメニューや各種設定メニューで、再生中は実行できない項目を選んでいました。再生を停止してから、操作してください。

録音中は操作できません

オプションメニューや各種設定メニューで、録音中は実行できない項目を選んでいました。録音を停止してから、操作してください。

Bluetoothを切断してから実行してください

本体とスマートフォンをBluetooth接続している際は、他のスマートフォンを機器登録（ペアリング）することはできません。Bluetooth通信を切断してから行ってください。

（「[Bluetooth接続を再接続する（Androidの場合）](#)」参照）

（「[Bluetooth接続を再接続する（iOSの場合）](#)」参照）

Bluetooth接続が切断されました

本体とスマートフォンをBluetooth接続する際、スマートフォン側から接続を切断されました。再接続する場合は、Bluetooth接続をやり直してください。

（「[Bluetooth接続を再接続する（Androidの場合）](#)」参照）

（「[Bluetooth接続を再接続する（iOSの場合）](#)」参照）

ペアリングできませんでした。もう一度実行してください。

本体とスマートフォンとのペアリングに失敗しました。お使いのスマートフォンのBluetooth機能がオンになっているか確認してからやり直してください。

（「[スマートフォンと本体をBluetooth接続する](#)」参照）

接続できませんでした。もう一度実行してください。

本体とスマートフォンとのBluetooth接続に失敗しました。お使いのスマートフォンのBluetooth機能がオンになっているか確認してからやり直してください。

（「[スマートフォンと本体をBluetooth接続する](#)」参照）

リモコンを登録できませんでした

本体にリモコンを登録できませんでした。本体の電源を切り、再度リモコンの登録をやり直してください。

（「[本体にリモコンを登録する](#)」参照）

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

音楽ファイルを順番に表示、再生できない。

パソコンを使って、ICレコーダーに転送した音楽ファイルは、メタ情報のトラック番号やファイル名をもとに並び替えます。

録音中に自動的に分割されてしまう。

録音の途中でファイルサイズの上限（LPCMは4 GB、MP3は1 GB）を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。

英文字がすべて大文字になってしまう。

パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。

フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、タイトル名が文字化け、または「□」が表示される。

ICレコーダーで表示できない文字が使用されています。フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、またはタイトル名を半角英数字に置き換えてください。

A-Bリポート設定で、設定位置がずれてしまう。

ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。

ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。

ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。